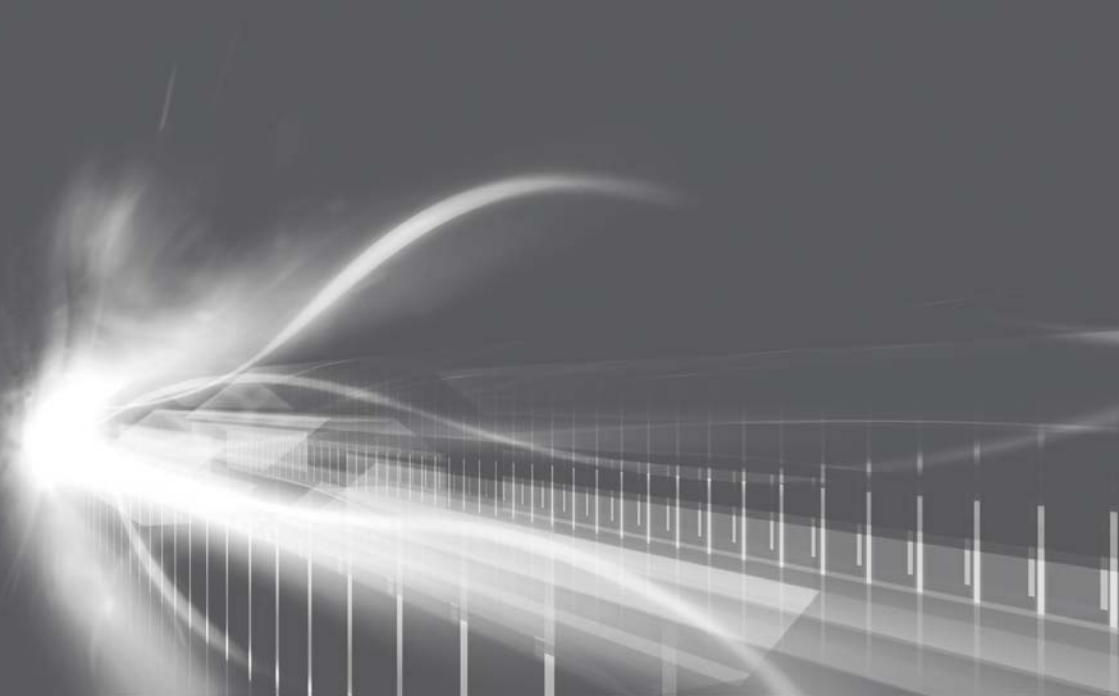




9インチディスプレイオーディオ 取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

RAIZE



1	本機の操作	● 各機能を使用する前に知っておきたいこと ● Bluetooth 機器を本機に接続する
2	オーディオ & ビジュアル	● ラジオを聞く ● 音楽や映像を楽しむ
3	ハンズフリー	● 携帯電話をハンズフリーで使用する
4	周辺監視	● 車両周囲の状況を確認する
5	スマートフォン連携	● SmartDeviceLink ™を使用する ● Apple Carplay を使用する
6	ドライブレコーダー	● ドライブレコーダーで録画した映像を再生する
7	ご参考	● 本機の仕様情報など

さくいん	アルファベットで検索
	五十音で検索

知っておいていただきたいこと	4
本書の見方	5
検索のしかた	6

1 本機のご操作

1-1. 基本操作

画面と操作ボタン	8
ホーム画面	10
ステータスアイコンについて	13
画面を操作する	16

1-2. 機器の接続

ケーブルを使って接続する	18
Bluetooth® 機器を登録／接続する	19

1-3. 各種設定

システム設定	23
画面の表示設定	25
オーディオの設定	26
通信設定	27

2 オーディオ & ビジュアル

2-1. ラジオを聞く

AM / FM ラジオを操作する	30
------------------	----

2-2. メディアの再生／視聴

テレビを操作する	32
USB メモリーを操作する	38
iPod を操作する	41
Bluetooth オーディオを操作する	43

2-3. ステアリングスイッチの操作

ステアリングスイッチで操作する	45
-----------------	----

3 ハンズフリー

3-1. お使いになる前に

ハンズフリーを使う	48
-----------	----

3-2. 基本操作

ステアリングスイッチで操作する	49
電話をかける	50
電話を受ける	53

3-3. ハンズフリーの便利な使い方

通話中の操作	54
--------	----

3-4. こんなときは

知っておいていただきたいこと	55
----------------	----

4 周辺監視

4-1. バックカメラ

バックカメラ	58
カメラの設定	65
知っておいて いただきたいこと	67

4-2. パノラミックビューモニター

パノラミックビュー モニター	69
カメラの設定	81
知っておいて いただきたいこと	82

5 スマートフォン連携

5-1. SmartDeviceLink ™

SmartDeviceLink ™に ついて	86
SmartDeviceLink ™ Apps の操作	87
SmartDeviceLink ™の 設定	89
知っておいて いただきたいこと	90

5-2. Apple CarPlay

Apple CarPlay について ...	91
Apple CarPlay の操作	92
モバイル音声認識の操作	94

6 ドライブレコーダー

6-1. ドライブレコーダー

ドライブレコーダー	96
ドライブレコーダー画面を 操作する	97
ドライブレコーダーの設定 ...	99

7 ご参考

7-1. 参考情報

使用できるメディア／ データについて	102
商標、著作権について	108

さくいん

アルファベット順さくいん	112
五十音順さくいん	113

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

- 本書は、ディスプレイオーディオの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書と併せてお読みください。
- トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の画面と実際の画面は、装備や契約の有無などによって異なります。
- 操作状況によっては、画面の切り替えに時間がかかったり、黒画やちらつきが生じることがあります。
- 1章の「本機の操作」には、各機能共通の操作内容、およびはじめに設定しておくことと便利なことがまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データを内蔵メモリーに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合などにより、メモリーに保存されたデータなどが変化・消失することがあります。

お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

バッテリーの取り外しについて

本機はエンジンスイッチを“OFF”にするごとに、各種データを本機に保存しています。各種データの保存が終わる前にバッテリー端子を外すと、データが正常に保存できないことがあります。詳しくは、トヨタ販売店にお問い合わせください。

本書の見方



警告

お守りいただかないと、お客様ご自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。

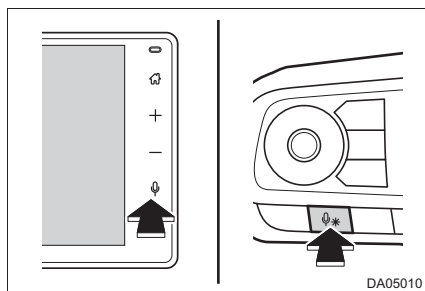


注意

お守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。

1 **2** **3** ... 操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

➡: 押す・回すなど、していただきたい操作を示しています。



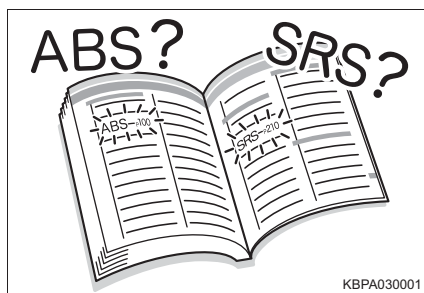
知識

機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

検索のしかた

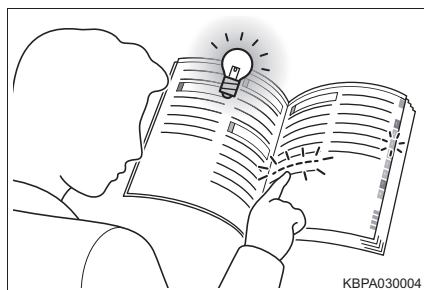
▶ 名称から探す

- 五十音順さくいん 113
- アルファベット順さくいん 112



▶ タイトルから探す

- 目次 2



本機の手操作

1

1-1. 基本操作

画面と操作ボタン	8
ホーム画面	10
ステータスアイコンに ついて	13
画面を操作する	16

1-2. 機器の接続

ケーブルを使って接続する ..	18
Bluetooth® 機器を 登録／接続する	19

1-3. 各種設定

システム設定	23
画面の表示設定	25
オーディオの設定	26
通信設定	27

画面と操作ボタン



- | | |
|---|--|
| ① マイク | ④ トークボタン
スマートフォンの音声認識を起動する (→ P. 94) |
| ② ホームボタン
ホーム画面を表示する (→ P. 10) | ⑤ ☆ボタン
SmartDeviceLink™対応ナビアプリを起動する
ナビアプリ画面とオーディオ画面を切り替えます。
優先的に表示されるナビアプリを設定できます。(→ P. 23) |
| ③ 音量調整ボタン
音量を調整する
約 1 秒以上押し続けると、連続して調整できます。 | |

知識

- - 20℃以下の低温時には、画面の操作ができなくなります。
- 液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えることがあります。
- 太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見えにくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見えにくくなったりします。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。お車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときは、必ず実際の交通規制に従うとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

⚠ 注意

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどのやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。
- バッテリーあがりを防ぐため、エンジン停止中に長時間使用しないでください。

こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原因	処置
温度異常のため、テレビ機能停止中です。	本機の内部温度が標準値を超えたため。	温度が下がるのを待つてから、再度操作をしてください。
暗証番号が間違っています。暗証番号を忘れた場合は、販売店にご相談ください。	セキュリティ設定画面で設定した暗証番号と異なっているため。	トヨタ販売店にご相談ください。

ホーム画面

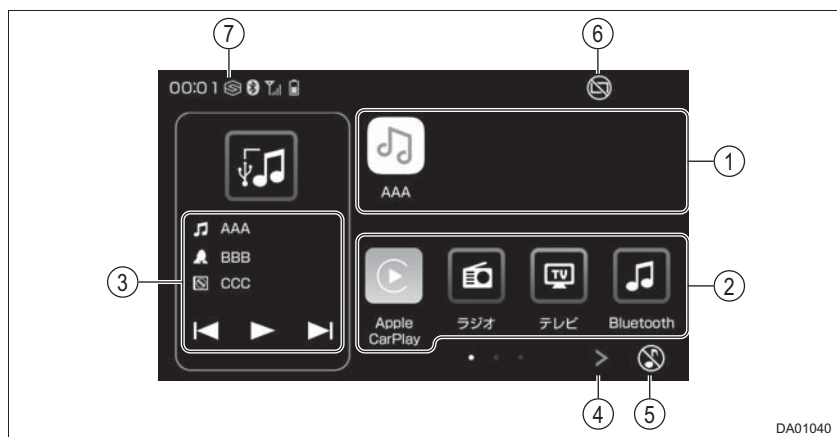
ホーム画面では、スマートフォン連携時のアプリやオーディオソースの選択ができます。

ホーム画面の操作

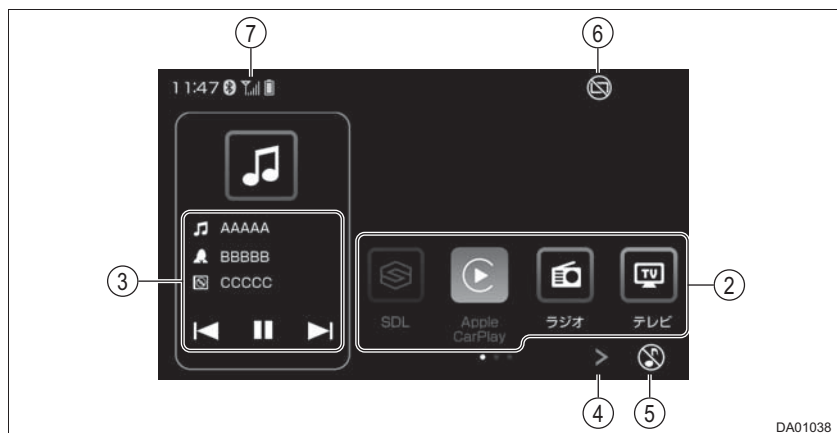
ホームボタンを押す

スマートフォン連携機能（→ P. 27）の ON / OFF により、表示される画面が異なります。

▶ スマートフォン連携機能 ON（SmartDeviceLink™接続時）



▶ スマートフォン連携機能 ON（SmartDeviceLink™未接続時）



▶ スマートフォン連携機能 OFF



- ① SmartDeviceLink™対応アプリを表示する (→ P. 89)
- ② オーディオやハンズフリー、設定画面などを表示する
- ③ オーディオ操作画面 (→ P. 30) を表示する
- ④ ページを切り替える
フリック操作でもページを切り替えできます。(→ P. 17)
- ⑤ オーディオを OFF する
再度選択すると、再開されます。
オーディオソースを選択しても、オーディオの OFF 状態が解除されます。
- ⑥ 音声は消さずに、画面だけを消す
画面を表示させるときは、画面をタッチするか、画面外のホームボタンを押す。
- ⑦ 機器の接続状態を表示する (→ P. 13)

ソースを選択する

ホーム画面からソースを選択できます。

ホーム画面 (→ P. 10) →ソースを選択

●SmartDeviceLink™

Bluetooth 未接続時：画面表示に従って、Bluetooth接続してください。(→ P. 19)

Apple CarPlay 起動時：Apple CarPlay が無効になります。画面表示に従って、SmartDeviceLink™を接続してください。

●Apple CarPlay

Apple CarPlay を起動します。

●ラジオ

ラジオを受信します。

●テレビ

デジタルテレビを受信します。

●Bluetooth

Bluetooth オーディオを再生します。

●USB / iPod

USBメモリーに記録した音楽ファイルなどを再生します。

iPod を再生します。

●交通情報

交通情報を受信します。

●電話

ハンズフリーを起動します。

●設定

各種項目を設定します。

●ドライブレコーダー ※

ドライブレコーダー画面を表示します。

※ 対応システム接続時のみ



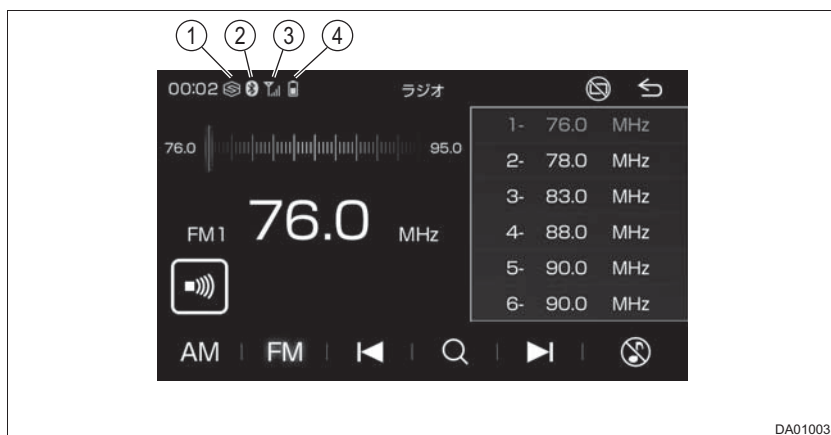
知識

●Apple CarPlay 起動時は、SmartDeviceLink™が未接続となります。

●接続した機器に名称が登録されている場合は、その名称でスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

ステータスアイコンについて

ステータスアイコンの表示について



① SmartDeviceLink™表示

SmartDeviceLink™ Apps が利用可能な場合に表示されます。

② Bluetooth 機器の接続状態を表示する (→ P. 14)

③ 携帯電話の電波受信レベルを表示する (→ P. 15)

④ 携帯電話の電池残量を表示する (→ P. 15)

知識

● 時計表示の ON / OFF ができます。(→ P. 23)

OFF の場合でも、SmartDeviceLink™ Apps 接続時にスマートフォンの時刻情報を取得できた場合、スマートフォンの時刻が表示されます。

■ Bluetooth 機器の接続状態表示について

Bluetooth 機器の Bluetooth 接続状態を表示します。

表示	接続状態
	Bluetooth 接続中であることを示しています。この状態で Bluetooth 機器を使用してください。点滅中は Bluetooth 接続待機中です。
非表示	Bluetooth 機器が Bluetooth 接続されていない場合や接続状態が悪い場合は、Bluetooth 接続表示が非表示になります。 Bluetooth 機器を移動して使用してください。また、携帯電話が未接続の場合はハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。(→ P. 21) 携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってから使用してください。(→ P. 20)

知識

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナが本機内に内蔵されています。Bluetooth 機器を使用するときは、Bluetooth が接続可能な場所に Bluetooth 機器を移動させてください。また、次のような場所や状態で Bluetooth 機器を使用すると、Bluetooth の接続ができないことがあったり、Bluetooth 機器の Bluetooth 接続状態表示が非表示になることがあります。
 - ・ Bluetooth 機器が画面から隠れる場所にあるとき (Bluetooth 機器がシートの後ろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
 - ・ Bluetooth 機器が金属製のものに接したり、覆われているとき
- Bluetooth 機器を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、Bluetooth 機器の省電力モードを解除してください。

■ 携帯電話の電波の受信レベル表示について

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されないことがあります。

レベル	表示
圏外	
弱	
強	

知識

- ハンズフリーを使用する場合は、次の点に注意してください。
 - ・ 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
 - ・ 機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
 - ・ Bluetooth接続表示が非表示のときは、携帯電話が本機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth接続してからご利用ください。(→ P. 21)

■ 携帯電話の電池残量表示について

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されないことがあります。

残量	表示
無	
少	
多	

画面を操作する

通常のタッチ操作に加え、タッチする指の動きに合わせて、リスト画面などを動かすことができます。

- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 画面に  が表示されているときに  を選択すると、一つ前の画面に戻ります。
ホーム画面に戻ることがあります。

知識

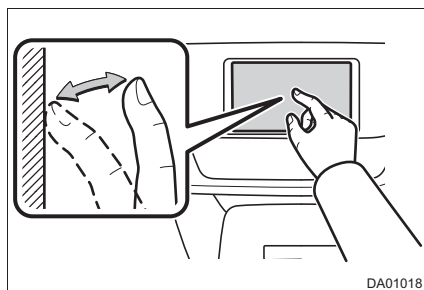
- 走行中はリスト送りなどの一部機能が制限されます。
- 清掃の際、タッチスイッチをふくことで、タッチスイッチが反応することがあります。
- タッチスイッチに手を近付けた状態で、エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にすると、タッチスイッチが反応しないことがあります。その場合、タッチスイッチから手を離し、10 秒程度待ってから再度タッチしてください。
- 次のときは、タッチスイッチが反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - ・手袋を着用しているとき
 - ・爪で操作したとき
 - ・他の指や手のひらが、他のタッチスイッチに近付いたとき
 - ・汚れや水分が付着しているとき
 - ・タッチスイッチの表面にフィルムなどを貼ったとき
 - ・タッチスイッチの表面を塗装したとき
 - ・近くにテレビ塔・発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
 - ・無線機や携帯電話などの無線通信機器を携帯しているとき
- タッチスイッチが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているときは、タッチスイッチが反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - ・アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - ・アルミ箔を使用したタバコの箱
 - ・金属製の財布やかばん
 - ・小銭
 - ・カイロ
 - ・CD や DVD などのメディア

画面の操作方法

画面に直接指でタッチして操作します。

■ タッチ操作（画面のスイッチ選択）

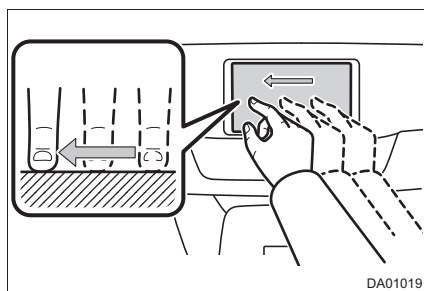
画面を指で軽くタッチする



■ ドラッグ操作（リスト画面のスクロール）

画面にタッチしたまま指をずらす

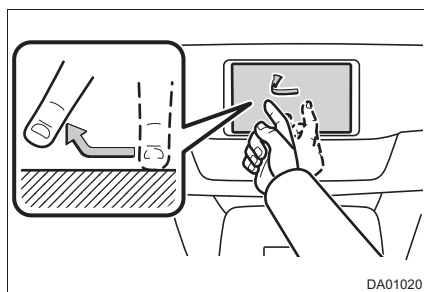
●一部の画面で操作できます。



■ フリック操作（リスト画面のスクロール（ページごと））

画面にタッチした状態で軽く指を払う

●一部の画面で操作できます。



知識

●画面操作は、標高の高い場所ではスムーズに操作できないことがあります。

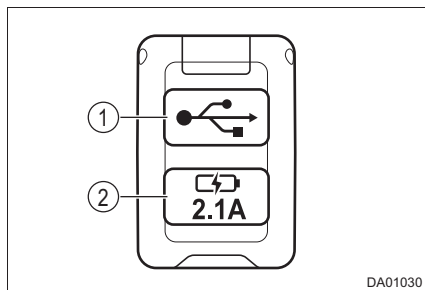
ケーブルを使って接続する

ポータブル機などを接続して、車両のスピーカーで聞くことができます。

USB ソケットについて

カバーを開け、機器を接続する

- ① 本機にUSB メモリーやiPodなどの USB 機器を接続する場合に使用
 - ② USB 機器を充電する場合に使用
- USB ソケットの意匠および位置は、お車によって異なります。詳しくは、車両本体の取扱書をご覧ください。



知識

- USB 端子が接続できます。
- USB ハブを使用して、USB メモリーを接続した場合、USB メモリーが認識されないことがあります。
- 使用するケーブルによっては、正常に作動しないことがあります。
- 使用する携帯電話によっては、正常に充電できないことがあります。

注意

- 接続する機器の形状によっては、周辺部品と干渉し、本体または接続機器が破損する可能性がありますのでご注意ください。
- 差込口に接続機器以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

Bluetooth® 機器を登録／接続する

ハンズフリーや Bluetooth オーディオを使用するためには、Bluetooth 機器を本機に登録し、接続する必要があります。

Bluetooth 設定画面について

Bluetooth 機器の登録／接続など、本機で使用する Bluetooth 機器の管理はこの画面で行います。

ホーム画面 (→ P. 10) → [設定] → [通信設定 (📶)] → [Bluetooth 設定]



④ Bluetooth機器に表示される本機の名称

⑤ 接続した機器の電話帳／履歴を本機に自動転送する機能を ON / OFF する

機能をONにしても、接続した機器が PBAP (→ P. 107) に対応していない場合、自動転送されません。

① 使用用途を設定してある機器と本機を Bluetooth 接続する

② Bluetooth 接続を切断する

③ 選択した機器を削除する

⑥ 登録されている機器の一覧

⑦ 接続している機器の使用用途表示

○： 接続していません

● (灰色)：使用用途として設定されています

● (青色)：接続されています

Bluetooth 機器を登録する

- 1 ホーム画面(→ P. 10)→[設定]→[通信設定(Bluetooth)]→[Bluetooth 設定]
- 2 Bluetooth 機器を操作し、本機の Bluetooth 設定画面に表示されているデバイス名を探し、選択する
 - Bluetooth 機器の Bluetooth 機能を ON にしてから操作してください。
- 3 本機に表示されているコードと、Bluetooth 機器に表示されているコードが一致していることを確認し、本機の [はい] を選択する
 - Bluetooth 機器に、接続の許可を求めるメッセージが表示されている場合は、許可してください。



- 4 Bluetooth 設定画面に登録した機器が追加されていることを確認する
 - 登録が完了すると、新規登録した機器の使用可能な用途で Bluetooth 接続されます。新規登録した機器と同じ使用用途で Bluetooth 接続されている機器がある場合、接続されていた機器の接続は切断されます。

知識

- Bluetooth 機器は、本機に 8 台まで登録できます。

Bluetooth 機器を接続する

本機は、登録されている Bluetooth 機器を認識すると、認識した機器と自動で Bluetooth 接続します。

自動で接続された機器以外の登録されている機器を接続する場合は、次の手順で接続してください。

① ホーム画面(→ P. 10)→[設定]→[通信設定(

② 登録されている機器の使用用途表示を選択する (→ P. 19)

- 接続したい Bluetooth 機器が表示されていない場合は、新規登録して接続してください。(→ P. 20)

③ 使用用途設定画面で、接続したい Bluetooth 機器の使用用途を選択し、[決定] を選択する

- [電話] と [オーディオ] の両方に対応した Bluetooth 機器では、両方同時に使用用途として設定することができます。
- 他の Bluetooth 機器を接続すると、オーディオのみ使用用途として選択され、先に接続されていた Bluetooth 機器は、電話のみ使用用途として選択されます。



④ Bluetooth 設定画面で、接続した機器の使用用途表示が“●”（青色）に変更されていることを確認する

知識

- Apple CarPlay を使用中の iPhone では、Bluetooth 接続することができません。

Bluetooth の仕様、対応プロファイルについて

→ P. 107

知識

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定干渉距離は 10m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

警告

安全のため、運転者は運転中に Bluetooth 機器本体の操作をしないでください。

注意

Bluetooth 機器は車室内に放置しないでください。

炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

警告

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

システム設定

時計の設定や操作音などを ON / OFF できます。

システム設定画面の操作

ホーム画面 (→ P. 10) → [設定]

システム設定以外の画面が表示された場合は、[システム設定 ] を選択してください。



●故障表示

表示を ON / OFF できます。

登録済みの連絡先などに電話をかけることができます。(Bluetooth 接続時)

- ・ 連絡先の登録 (→ P. 27)

●標識表示 ※

表示を ON / OFF できます。

●スマートフォン置忘れ案内

車両のエンジンスイッチ "OFF" 時の案内表示を ON / OFF できます。

●“☆” ボタン割り当て

ボタンを選択した場合、優先的に表示されるナビアプリを設定できます。

●操作音

各種操作を行った場合の操作音を ON / OFF できます。

※ 対応システム接続時のみ

●カメラ設定 ※ (→ P. 65)

バックガイドラインやコーナーセンサー表示を ON / OFF できます。

●時計設定

時刻表示の ON / OFF や時刻、日付を設定できます。

●バージョン情報

本機のバージョン情報を確認できます。

●設定初期化

本機の設定を工場出荷状態に戻します。

●セキュリティ設定 (→ P. 24)

暗証番号を設定することにより、セキュリティの設定ができます。

●テレビ設定 (→ P. 36)

12 セグ/ワンセグの切り替えや放送局サーチなどの設定ができます。

●著作権情報

各種著作権情報を表示します。

●ドライブレコーダー設定 ※ (→ P. 99)

ドライブレコーダーの設定ができます。

■ セキュリティ設定

① システム設定画面 (→ P. 23) → [セキュリティ設定]

▶ 暗証番号未設定時

② [設定] を選択

③ 4 ケタの暗証番号を入力し、[入力終了] を選択



④ [確認] を選択

▶ セキュリティ再設定時

② [設定] を選択

③ [はい] を選択

④ 現在の 4 ケタの暗証番号を入力し、[入力終了] を選択

⑤ 新しい 4 ケタの暗証番号を入力し、[入力終了] を選択

▶ セキュリティ設定解除時

② [解除] を選択

③ [はい] を選択

④ 4 ケタの暗証番号を入力し、[入力終了] を選択

□ 知識

- 車両のバッテリー端子を外して本機がロックされ操作できなくなった場合、登録したパスワードを入力すると、操作できるようになります。登録したパスワードは忘れないように控えておいてください。セキュリティを解除するときに必要です。

画面の表示設定

画面の明るさなどを調整できます。

表示設定画面の操作

システム設定画面（→ P. 23）→ [表示設定 ()]

●イルミ連動

昼画面と夜画面がランプの点灯・消灯に連動して切り替わります。

●昼画輝度調整

昼間モード時の画面の明るさを調整できます。

●夜画輝度調整

夜間モード時の画面の明るさを調整できます。

オーディオの設定

オーディオの音質や音量バランスを調整できます。

オーディオ設定画面の操作

システム設定画面（→ P. 23）→ [EQ 設定 (EQ)]

●EQ 選択

好みの音質を選択できます。

[Custom] のみ手動で調整できます。

●音場設定（→ P. 26）

音場や音量バランスを調整できます。

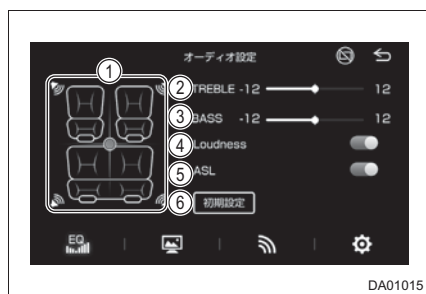
●案内音量設定

ナビアプリの案内音量や駐車支援ガイド※の音量を調整できます。

※ 対応システム接続時のみ

■ 音場設定

オーディオ設定画面（→ P. 26）→ [音場設定]



① 前後左右の音量バランスを調整する

カーソルにタッチし、ドラッグして微調整できます。

② TREBLE（高音）を調整する

③ BASS（低音）を調整する

④ Loudness を ON / OFF する
低音と高音を強調します。

⑤ ASL を ON / OFF する
車速に応じて音質／音量を補正します。

⑥ 初期設定に戻す

通信設定

Bluetooth の接続やスマートフォンの連携などを設定できます。

通信設定画面の操作

システム設定画面 (→ P. 23) → [通信設定 (

- Bluetooth 設定 (→ P. 20, 21)

電話帳／履歴自動転送の ON / OFF や接続した Bluetooth 機器の使用用途を選択できます。

- 連絡先設定

[販売店]、[ロードサービス等] を選択し、電話番号を入力。

[入力終了] を選択し、登録を終了します。

- スマートフォン連携

スマートフォン連携を ON / OFF できます。

- スマートフォン連携優先設定 (→ P. 89)

[SDL]、[Apple CarPlay] を選択できます。

オーディオ & ビジュアル

2

2-1. ラジオを聞く

AM / FM ラジオを
操作する 30

2-2. メディアの再生／視聴

テレビを操作する 32

USB メモリーを操作する 38

iPod を操作する 41

Bluetooth オーディオを
操作する 43

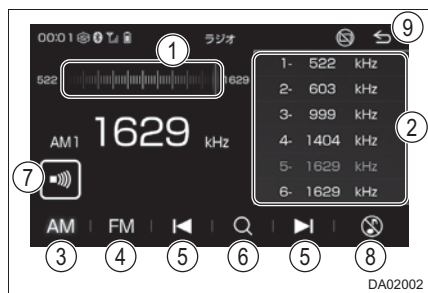
2-3. ステアリングスイッチの操作

ステアリングスイッチで
操作する 45

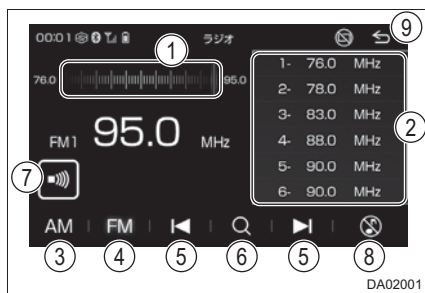
AM / FM ラジオを操作する

ホーム画面 (→ P. 10) → [ラジオ]

▶ AM ラジオ



▶ FM ラジオ



① 周波数の選択

周波数帯域を選択して、周波数を切り替えます。

② プリセットスイッチ

記憶した周波数を選択します。

記憶したい周波数に切り替え、“ピッ”と音がするまで選択すると、その周波数を記憶します。

③ AM ラジオバンドの切り替え

選択するたびに、AM1 / AM2 が切り替わります。

④ FM ラジオバンドの切り替え

選択するたびに、FM1 → FM2 → FM3 の順に切り替わります。

⑤ 周波数の切り替え

選択するたびに、周波数が切り替わります。

“ピッ”と音がするまで選択すると、受信感度がよく現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で受信します。

⑥ 受信可能な周波数をプリセットスイッチに順次記憶

⑦ 交通情報画面に切り替え (→ P. 31)

⑧ オーディオを OFF

[♪] を選択すると、オーディオを ON します。

⑨ ホーム画面を表示

 知識

- 走行中、受信状態は刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。

交通情報を聞く

ホーム画面 (→ P. 10) → [交通情報]

- ① ラジオ操作画面に切り替え
- ② プリセットスイッチ
[1620kHz]、[1629kHz] から選択します。
- ③ オーディオを OFF
[♪] を選択すると、オーディオを ON します。
- ④ ホーム画面を表示

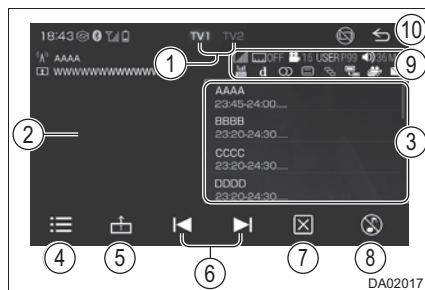
 知識

- 交通情報受信中は、周波数帯域を操作しても、周波数は切り替わりません。

テレビを操作する

テレビを視聴する

ホーム画面 (→ P. 10) → [テレビ]



- ④ 番組表を表示 (→ P. 33)
- ⑤ TV メニューを表示 (→ P. 33)
- ⑥ チャンネルの切り替え
選択することにより、受信するチャンネルを切り替えます。
“ピッ”と音がするまで選択すると、受信感度がよく、現在受信している周波数に一番近いチャンネルを受信します。
- ⑦ 操作画面を OFF
映像を選択すると、操作画面を表示します。
- ⑧ オーディオを OFF
[♪] を選択すると、オーディオを ON します。
- ⑨ 受信中のテレビの状態を表示
- ⑩ ホーム画面を表示
- ① プリセッター一覧の切り替え
2 つのプリセッター一覧 (TV1 / TV2) があり、それぞれに 12 局ずつ放送局をプリセットスイッチに登録し、使い分けることができます。
- ② 映像を全画面で表示
映像を選択すると、操作画面を表示します。
- ③ プリセットスイッチ
記憶したチャンネルを選択します。
記憶したいチャンネルを選択し、“ピー”と音がするまで選択すると、そのチャンネルを記憶します。

番組表を操作する

TV 操作画面 (→ P. 32) → 

- ① 放送日時の切り替え
- ② チャンネルの切り替え
- ③ 放送日の切り替え

④ 番組をジャンルで検索

ジャンルを選択し、番組を検索します。検索された番組を選択すると、その番組に切り替えます。

放送予定の番組の場合は、その番組の情報を表示します。

「終了」を選択すると、映像を表示します。

- ⑤ 表示チャンネル数を3段階で切り替え
- ⑥ 映像に戻る
- ⑦ 選択した番組の番組内容を表示

TV メニュー画面を操作する

TV 操作画面 (→ P. 32) → 

① プリセットモードの切り替え

選択するたびに、プリセットスイッチ (USER / AREA) を切り替えます。

- ・ USER : ユーザーが登録した放送局
- ・ AREA : 地域設定 (→ P. 36) で設定した地域の放送局

② 放送局を自動で登録

“ピッ”音がするまで選択すると、受信状態のよい放送局が自動でプリセットスイッチに登録されます。

中止するときは、「中止」を選択します。

- ③ データ放送を表示 (→ P. 35)
- ④ データ放送の操作スイッチを表示 (→ P. 35)
- ⑤ 視聴中の番組内容を表示

「終了」を選択すると、映像に切り替えます。

- ⑥ 最新の番組表や番組内容に切り替え
⑦ テレビの機能を設定 (→ P. 36)
⑧ 映像の切り替え
番組に複数の映像がある場合、選択するたびに映像 1、映像 2 を切り替えます。
⑨ 字幕の切り替え
番組に字幕がある場合、選択するたびに字幕 1 → 字幕 2 → 字幕 OFF の順に字幕の表示が切り替わります。
⑩ サービスリストを表示
受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、視聴したいサービスを選択するとサービスを切り替えます。
⑪ 音声の切り替え
番組に複数の音声がある場合、選択するたびに、音声 1、音声 2 を切り替えます。
- ⑫ サービスの切り替え
受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、選択するたびにサービスを切り替えます。
⑬ ソフトウェアバージョン情報を表示
⑭ ワイドモードの切り替え
ワイドモードを選択します。
• [Full] : 映像を画面いっぱいに表示
• [Zoom] : 映像の上下を切り取って、画面いっぱいに表示
• [Normal] : 映像を 4:3 で表示
⑮ 音声多重の切り替え
音声多重放送を受信中、選択するたびに、MAIN (主音声) → SUB (副音声) → MAIN+SUB (主音声・副音声) の順に切り替わります。
⑯ 次のページに切り替え
⑰ 前のページに切り替え

知識

- プリセットモードは、プリセット一覧 (→ P. 32) ごとに設定できます。

データ放送を操作する

データ放送とは地上デジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。画面に表示される説明の順に操作すると、様々な情報を見ることができます。受信したデータ放送は色スイッチ、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

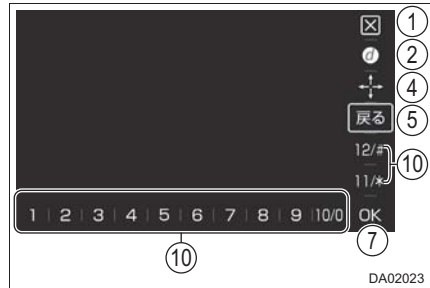
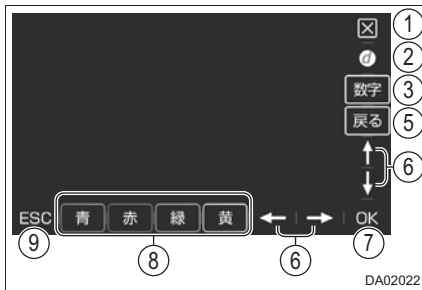
TV 操作画面（→ P. 32）→  → 

データ放送を操作するときは  を選択し、操作スイッチを表示する

- 受信したデータ放送により、、または「数字」を選択し、操作スイッチを切り替える

▶  選択時

▶ 「数字」選択時



- ① 操作スイッチを消去
- ② データ放送を表示／消去
- ③ 操作スイッチを数字に切り替え
- ④ 操作スイッチをカーソル・色スイッチに切り替え
- ⑤ 1 つ前の表示に戻る
- ⑥ カーソルを操作
- ⑦ カーソルで選択した項目または入力した数字を決定
- ⑧ 色スイッチ
- ⑨ 設定の取り消しや決定を中止
- ⑩ 数字を入力

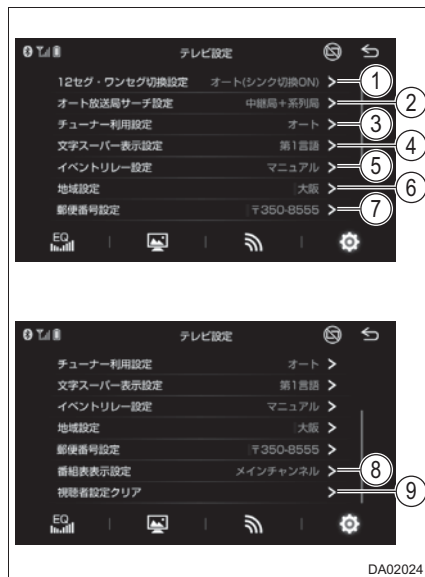
テレビの機能を設定する

▶ TV 操作画面から設定する

TV 操作画面 (→ P. 32) →  → [テレビ設定]

▶ システム設定画面から設定する

システム設定画面 (→ P. 23) → [テレビ設定]



① 受信状態に応じて、通常の放送 (12 セグ) とワンセグの切り替え方法を設定

選択するたびに、オート／マニュアルを切り替えます。

- オート：受信状態に応じて、通常の放送 (12 セグ) とワンセグを自動で切り替えます。
- マニュアル：通常の放送 (12 セグ) とワンセグを手動で切り替えます。
- オートに設定したときは、[シンク切換] を ON に設定すると、映像と音声のズレを補正します。

② 受信状態に応じて、他の中継局や系列局を自動で探すかを設定

[中継局 + 系列局]、[中継局]、[OFF] から選択します。

- [中継局 + 系列局]：自動で中継局、系列局を探します。
- [中継局]：自動で中継局を探します。
- [OFF]：中継局、系列局を探さない

③ 視聴中のチューナーの利用方法を設定

[オート]、[全チューナー固定] から選択します。

- [オート]：必要に応じて 2 チューナーで放送を受信し、残りのチューナーで受信感度のよい中継局の受信や、番組情報を取得します。
- [全チューナー固定]：常に全チューナーで放送を受信します。

④ 文字スーパーの言語や表示を設定

[第 1 言語]、[第 2 言語]、[非表示] から選択

- [第 1 言語]：第 1 言語で表示
- [第 2 言語]：第 2 言語で表示
- [非表示]：文字スーパー非表示

⑤ イベントリレーの受信を設定

[オート]、[マニュアル] から選択します。

- [オート]：視聴中の番組が別のチャンネルで放送されるときに、自動でチャンネルを切り替えます。
- [マニュアル]：手動でチャンネルを切り替えます。

⑥ エリアプリセットに使用する地域を設定

受信する地域を選択します。

⑦ データ放送を受信する地域を設定 ⑨ テレビの設定を消去

受信する地域の郵便番号を入力します。

「はい」を選択すると、設定を消去します。

⑧ 番組表の表示を設定

番組表の表示を「メインチャンネル」、または「全チャンネル」に設定します。

- ・「メインチャンネル」：メインチャンネルの番組表を表示します。
- ・「全チャンネル」：全チャンネルの番組表を表示します。

緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送（EWS:Emergency Warning System）は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

■ 緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組に戻ります。

⚠ 警告

- 安全上の配慮からお車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションをPにしたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

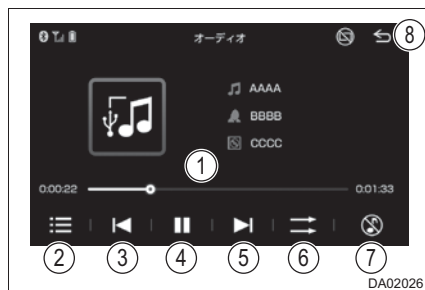
USB メモリーを操作する

◆ USB 接続

→ P. 18

音楽ファイルを再生する

ホーム画面 (→ P. 10) → [USB] → [オーディオ]



- ① プログレスバー
タッチ操作、ドラッグ操作で早送り／早戻しします。
- ② ファイルリストを表示 (→ P. 39)
- ③ 前の曲を選ぶ

④ 再生／一時停止

⑤ 次の曲を選ぶ

⑥ 再生モードの切り替え

選択するたびに、通常再生→ランダム再生→全曲リピート再生→1曲リピート再生→フォルダリピート再生の順に切り替わります。

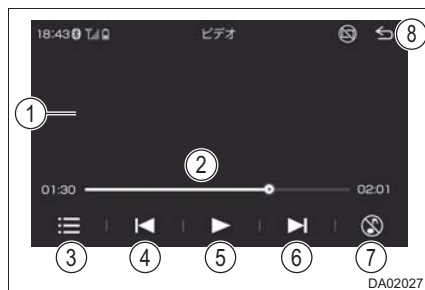
⑦ オーディオを OFF

[♪] を選択すると、オーディオを ON します。

⑧ オーディオ／ビデオ／ピクチャー選択画面を表示

ビデオファイルを再生する

ホーム画面 (→ P. 10) → [USB] → [ビデオ]



- ① 映像を全画面で表示
映像を選択すると、操作画面を表示します。

② プログレスバー

タッチ操作、ドラッグ操作で早送り／早戻しします。

③ ファイルリストを表示 (→ P. 39)

④ 前のビデオを選ぶ

⑤ 再生／一時停止

⑥ 次のビデオを選ぶ

⑦ オーディオを OFF

[♪] を選択すると、オーディオを ON します。

⑧ オーディオ／ビデオ／ピクチャー選択画面を表示

画像ファイルを再生する

ホーム画面（→ P. 10）→ [USB] → [ピクチャー]



③ 画像の表示を回転

選択するたびに、画像の表示が右に 90° ずつ回転します。

④ 前の画像を選ぶ

⑤ スライドショーを再生／一時停止

⑥ 次の画像を選ぶ

⑦ 画像を縮小

⑧ 画像を拡大

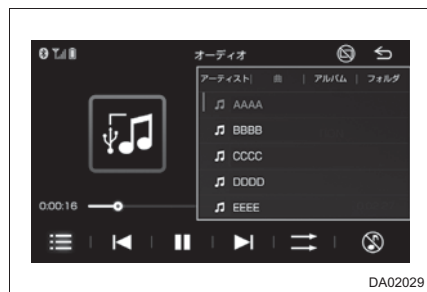
① 画像を全画面で表示

画像を選択すると、操作画面を表示します。⑨ オーディオ／ビデオ／ピクチャー

② ファイルリストを表示（→ P. 39） 選択画面を表示

ファイルリストを表示する

 を選択すると、ファイルリストが表示されます。音楽ファイル再生中は、[アーティスト]・[曲]・[アルバム]・[フォルダ] それぞれのリストから選択できます



知識

- 本機で利用できるメディアやデータについては、「利用できるメディア／データについて」（→ P. 102）をご覧ください。
- 本機に対応していないフォーマットのファイルを読み込んだとき、動作に影響を及ぼすことがあります。
- ファイルサイズなどにより、読み込みに時間がかかることがあります。
- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続する機器を抜き差しすると、雑音が入ることがあります。

■ こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原因	処置
非対応の USB 機器が接続されました	対応していない USB 機器を接続したため。	対応している USB メモリーをご確認ください。 (→ P. 102)
サポートしないフォーマット	本機でサポートしていないファイルを再生したため。	再生できるファイルをご確認ください。(→ P. 102, 104)
ピクチャーファイルなし	再生できるファイルが USB にないため。	再生できるファイルをご確認ください。(→ P. 105)

 警告

- 安全のため、運転者は運転中にオーディオの操作をしないでください。
- 安全上の配慮からお車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にしたときのみ映像、または画像をご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

 注意

- USB メモリーを車室内に放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

iPod を操作する

◆ iPod 接続

→ P. 18

音楽ファイルを再生する

ホーム画面 (→ P. 10) → [iPod]



① プログレスバー

タッチ操作、ドラッグ操作で早送り／早戻しします。

② ファイルリストを表示 (→ P. 42)

③ 前の曲を選ぶ

④ 再生／一時停止

⑤ 次の曲を選ぶ

⑥ ランダム再生

選択するたびに、通常再生、ランダム再生が切り替わります。

⑦ リピート再生

選択するたびに、通常再生→リストリピート再生→1 曲リピート再生の順に切り替わります。

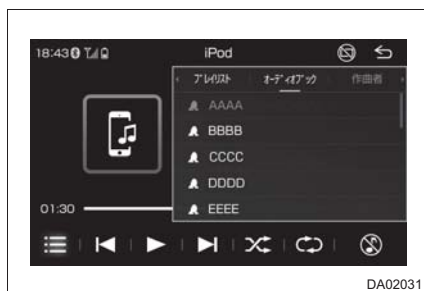
⑧ オーディオを OFF

[♪] を選択すると、オーディオを ON します。

⑨ ホーム画面を表示

■ ファイルリストを表示する

 を選択すると、ファイルリストが表示されます。カテゴリー別のリストから選択できます



知識

- 本機で利用できる iPod については、「iPod について」(→ P. 106) をご覧ください。
- iPod モード中に iPod 端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPod が接続されている状態で、他モードより iPod モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

警告

- 安全のため、運転者は運転中にオーディオの操作をしないでください。

注意

- iPod を車室内に放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth オーディオを操作する

◆ Bluetooth 機器の登録

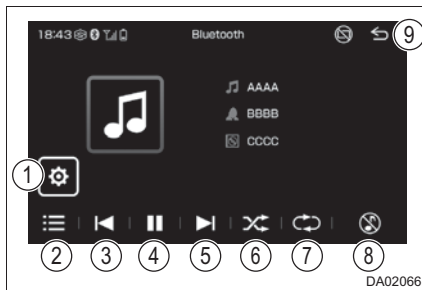
→ P. 20

◆ Bluetooth 機器の接続

→ P. 21

音楽ファイルを再生する

ホーム画面 (→ P. 10) → [Bluetooth]



① Bluetooth 設定画面を表示
(→ P. 19)

② ファイルリストを表示
(→ P. 39)

③ 前の曲を選ぶ

④ 再生／一時停止

⑤ 次の曲を選ぶ

⑥ ランダム再生

選択するたびに、通常再生、ランダム再生が切り替わります。

⑦ リピート再生

選択するたびに、通常再生→全曲リピート再生→1 曲リピート再生の順に切り替わります。

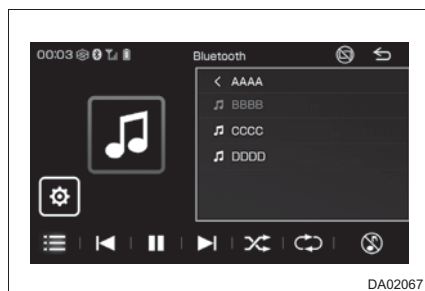
⑧ オーディオを OFF

[♪] を選択すると、オーディオを ON します。

⑨ ホーム画面を表示

■ ファイルリストを表示する

 を選択すると、ファイルリストが表示されます。Bluetooth機器により、カテゴリー別のリストから選択できます



知識

- 本機に接続するBluetooth機器が対応していなければならない仕様については、「Bluetooth について」(→ P. 107)をご覧ください。
ただし、Bluetooth 機器の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、すべての Bluetooth 機器において動作を保証しているわけではありません。
- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 接続により、Bluetooth 機器の電池が早く消耗します。

■ こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原因	処置
Bluetooth 未接続。	Bluetooth 接続されていない。	Bluetooth 接続してください。(→ P. 21)

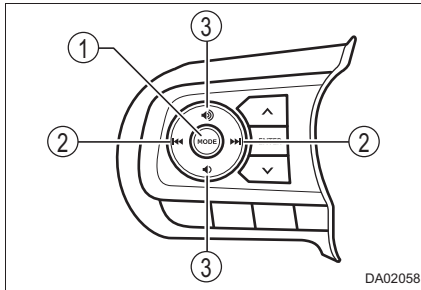
警告

- 安全のため、運転者は運転中に Bluetooth 機器本体の操作をしないでください。

注意

- Bluetooth 機器を車室内に放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- Bluetooth 機器を本機に近付けて使用しないでください。近付け過ぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

ステアリングスイッチで操作する



① MODE スイッチ

押すたびに、AM → FM → テレビ → USB / iPod※ → Bluetooth※ → SmartDeviceLink™※の順にオーディオソースを切り替えます。

1 秒以上押し続けると、消音、または再生を一時停止します。

再度、1 秒以上押し続けると、再生します。

② TUNE・TRACK スイッチ ラジオ／テレビ：

- 押すたびに、プリセットスイッチに登録されている周波数／チャンネルが順番に切り替わります。

- “ピッ”と音がするまで押すと、受信感度がよく、現在受信している周波数／チャンネルに一番近い周波数／チャンネルを受信します。

さらに押し続けると、押し続けている間、周波数が切り替わり、手を離すとその位置から周波数を自動で受信します。(ラジオのみ)

USB / iPod / Bluetooth オーディオ：

押すたびに、ファイルを切り替えます。

③ 音量調整スイッチ

押すたびに、音量を切り替えます。押し続けると連続して音量を切り替えます。

※ 対応機器接続時のみ

知識

ステアリングスイッチの意匠は、お車によって異なります。詳しくは、車両本体の取扱書をご覧ください。

注意

- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

ハンズフリー

3

- 3-1. お使いになる前に
ハンズフリーを使う 48
- 3-2. 基本操作
ステアリングスイッチで
操作する 49
電話をかける 50
電話を受ける 53
- 3-3. ハンズフリーの便利な使い方
通話中の操作 54
- 3-4. こんなときは
知っておいて
いただきたいこと 55

ハンズフリーを使う

Bluetooth 対応の携帯電話を本機に接続することで、電話を直接操作することなく電話機能を使用できます。

電話の機種により、一部機能が制限される場合があります。

準備

Bluetooth 対応の電話を本機に接続する（→ P. 19）

ハンズフリーが使用できないとき

- 次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。
 - ・ 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
 - ・ データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
 - ・ 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
 - ・ 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき

音声について

本機のマイクを通して通話できます。（→ P. 8）

- ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。

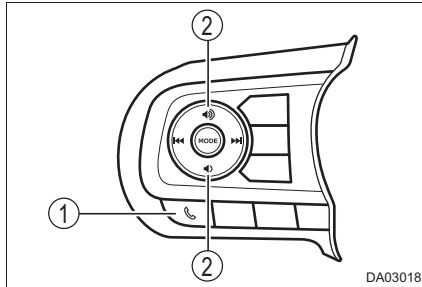
知識

- 他の Bluetooth 機器が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

ステアリングスイッチで操作する

各部の働き

電話の主な操作は、ステアリングスイッチでも操作することができます。



① 電話スイッチ

▶ 着信時

電話を受ける

スイッチを押し続けると、着信を切断することができます。



▶ が画面に表示されてい

るとき

電話をかける

▶ 発信中または通話中

スイッチを押し続けて、電話を切る

音声操作で電話をかけている場合、操作が中止されます。

Apple CarPlayが有効になっているときは、押すと電話が切れます。

▶ その他の画面

電話画面を表示（Apple CarPlayが有効になっているときは、Apple CarPlayの電話画面を表示）

スイッチを押し続けると、お気に入りの登録した連絡先に電話をかけることができます。（Apple CarPlayが有効になっているときは、この機能を使用できません。）

② 音量調整スイッチ

押すたびに、音量を切り替えます。

知識

ステアリングスイッチの意匠は、お車によって異なります。詳しくは、車両本体の取扱書をご覧ください。

電話をかける

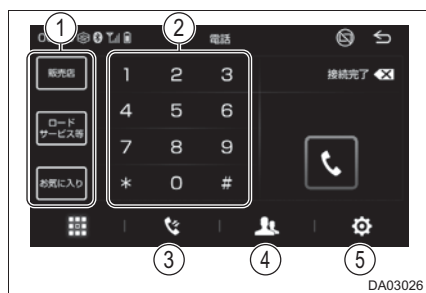
電話画面から色々な方法で電話をかけることができます。

電話画面を表示する

ホーム画面 (→ P. 10) → [電話]

- 電話が接続されていないときは、Bluetooth設定画面が表示されます。
(→ P. 19)

電話画面



- ① あらかじめ登録されている電話番号や、お気に入りとして登録 (→ P. 52) した電話番号が表示される

- ② 電話番号を入力して電話をかける (→ P. 52)
- ③ 発信または着信の履歴から電話をかける (→ P. 51)
- ④ 電話帳から電話をかける (→ P. 51)
- ⑤ Bluetooth 設定画面を表示する (→ P. 19)

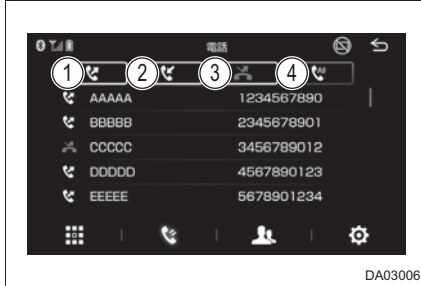
履歴から発信する

発信または着信の履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。

最新の履歴 200 件を表示できます。

① ホーム画面 (→ P. 10) → [電話]

②  を選択



① 発信履歴を表示

② 着信履歴を表示

③ 不在着信履歴を表示

④ すべての履歴を表示

③ 希望の通話相手を選ぶ

- 本機の電話帳に登録されていない相手先を選択した場合、電話番号が表示されます。表示された電話番号を選択し発信します。

知識

- 履歴が 200 件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。

電話帳から発信する

登録された電話帳 (→ P. 52) から電話をかけることができます。

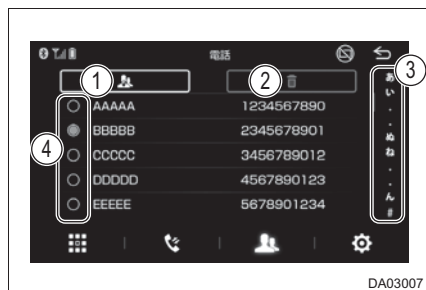
① ホーム画面 (→ P. 10) → [電話] → 

② 希望の連絡先を選択

選択した連絡先が、選択状態になります。

③ 選択状態の連絡先を再度選択

電話帳を転送／編集する



- ① 接続している電話から連絡先を読み込む
- ② 選択状態の連絡先を削除する
- ③ 選択した頭文字の連絡先まで移動する
- ④ お気に入りに登録する
○ : お気に入りに未登録
● : お気に入りに登録済み

ダイヤル発信する

- 1 ホーム画面 (→ P. 10) → [電話]

ステアリングスイッチの電話スイッチを押しても電話画面を表示することができます。



- ① 電話番号を入力する
- ② 一つ前の番号を削除する
選択し続けるとすべての番号を削除します。
- ③ 入力した電話番号に発信する

- 2 電話番号を入力して、発信する

電話を切る

次のいずれかの操作をする。

- ステアリングスイッチの電話スイッチを押す。(→ P. 49)
- 発信中または通話中画面で  を選択。
- 携帯電話本体で電話を切る。

電話を受ける

着信があると着信音が鳴り、着信画面が表示されます。

電話に出る

着信画面の受話スイッチを選択するか、ステアリングスイッチの電話スイッチを押す

知識

- 周辺監視画面表示中（対応システム接続時のみ）は、着信中画面を表示しません。着信音のみで着信を通知します。

着信を拒否する

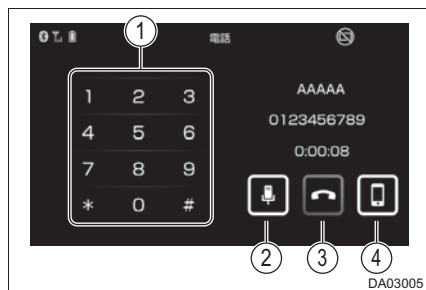
着信画面の  を選択するか、ステアリングスイッチの電話スイッチを押し続ける

通話中の操作

通話中は通話中画面が表示されます。

通話中は、本機の音量調整ボタン、またはステアリングスイッチの音量調整スイッチを操作することで、通話音量を調整することができます。

通話中画面について



- ① 番号入力を行う
- ② 通話中の発話を相手に聞こえないようにする
- ③ 通話を終了する
- ④ ハンズフリー通話と電話機本体での通話を切り替える

知っておいていただきたいこと

ハンズフリー／Bluetoothでお困りの際は、まず次の表を確認してください。

▶ハンズフリー／Bluetooth を使う

症状	考えられること	処置
ハンズフリー／Bluetooth を使うことができない	携帯電話が Bluetooth 非対応機種である。	本機で動作確認済みの機種については、トヨタ販売店でご確認ください。
	携帯電話のバージョンが Bluetooth に適合していない。	Bluetooth Specification Ver2.0 以上 (Ver.4.1+EDR 以上を推奨) の携帯電話を使用してください。(→ P. 107)

▶携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置
携帯電話が登録できない	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。
	本機、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	本機の登録処理を中止し、再度登録操作を行ってください。(→ P. 19) 本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行ってください。(→ P. 19)
Bluetooth 接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth 接続状態にある。	お使いになる携帯電話を本機から手動で Bluetooth 接続してください。(→ P. 19)
	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。

▶ 着信と発信

症状	考えられること	処置
電話をかける、受けるができない	圏外である。	「圏外」表示が消えるところまで移動してください。
	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）が ON になっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）を OFF にしてください。

▶ 電話帳

症状	考えられること	処置
電話帳データの転送／自動転送ができない	携帯電話のプロファイルが電話帳データ転送に対応していない。	本機で動作確認済みの機種については、トヨタ販売店でご確認ください。
	本機の自動転送設定が OFF になっている。	本機の電話帳自動転送の設定を ON にしてください。（→ P. 19）
	携帯電話が電話帳転送の承認待ちになっている。	携帯電話で電話帳転送承認ボタンを選択してください。
携帯電話に「承認」の確認画面が表示される	承認時に「常に許可」が選択されていない。	携帯電話で「常に許可」を選択し承認してください。
電話帳データが「その他」のフォルダに登録される	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながない。	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながあるか確認してください。
	携帯電話に電話帳が登録されていない。	携帯電話に電話帳を登録してください。
電話帳データの編集ができない	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。
	電話帳自動転送の設定が ON になっている。	自動転送の設定を OFF にしてください。（→ P. 19）

周辺監視

4

4-1. バックカメラ

バックカメラ 58

カメラの設定 65

知っておいて
いただきたいこと 67

4-2. パノラミックビューモニター

パノラミックビュー
モニター 69

カメラの設定 81

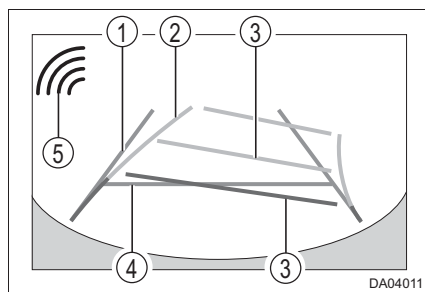
知っておいて
いただきたいこと 82

バックカメラ★

バックカメラは車両を後退させるとき、画面上に車両後方の映像を表示させることで、駐車時などの運転を補助する装置です。お使いになる際は、車両本体の取扱書もお読みください。

画面の見方について

エンジンスイッチが“ON”のときに、シフトレバーを R にすると、画面に車両後方の映像が表示される。



① 車幅延長線

お車をまっすぐ後退させたときの進路の目安（緑色）を示す。

- 実際の車幅より広く表示。
- 直進状態になっているときは、予想進路と重なる。

② 予想進路線

ハンドルと連動して、進路の目安（黄色）を示す。

③ 距離目安線（ハンドル連動）

お車の後方の距離を示す。

- 予想進路と連動する。
- バンパー後端の中心位置から約0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示す。

④ 距離目安線

- バンパー後端から約 0.5m 先（緑色）を示す。

⑤ コーナーセンサー作動表示（対応システム接続時のみ）

コーナーセンサーがONのとき、コーナーセンサーが障害物を検知すると、インジケーターが表示されブザーが鳴る。

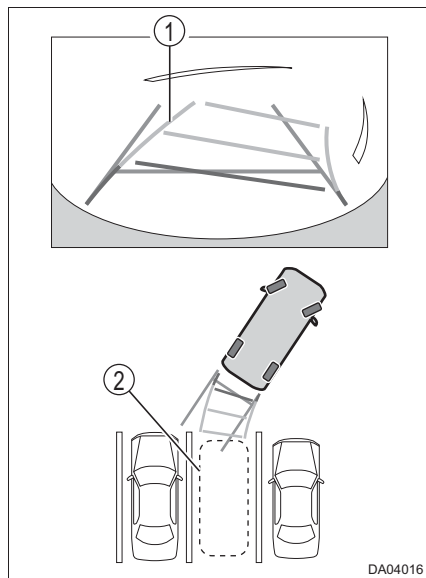
インジケーター表示	障害物との距離
緑色	約 60 ～ 45cm
黄色	約 45 ～ 30cm
赤色	約 30cm 以内

- 詳しくは、車両本体の取扱書をご覧ください。

予想進路線表示モードで駐車する

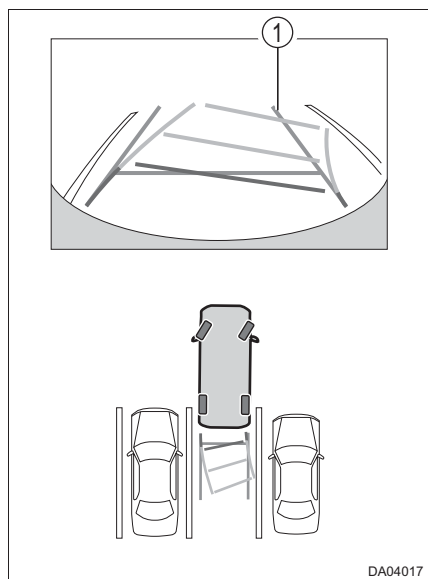
次の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

- ① シフトレバーを R にする
- ② 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する



- ① 予想進路線
- ② 駐車スペース

- ③ お車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車スペース
左右の区画線の間に入るようにハンドルを操作する



① 車幅延長線

- ④ 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっ
すぐにして、お車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する
- ⑤ 適切な位置で停車し、駐車を終える

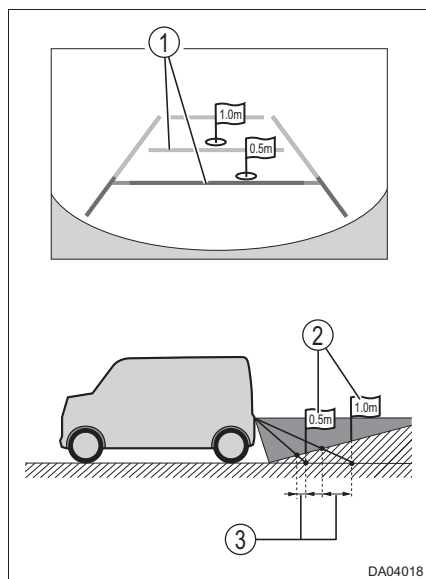
バックカメラの注意点について

■ 画面と実際の路面との誤差について

ガイド線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

● 急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



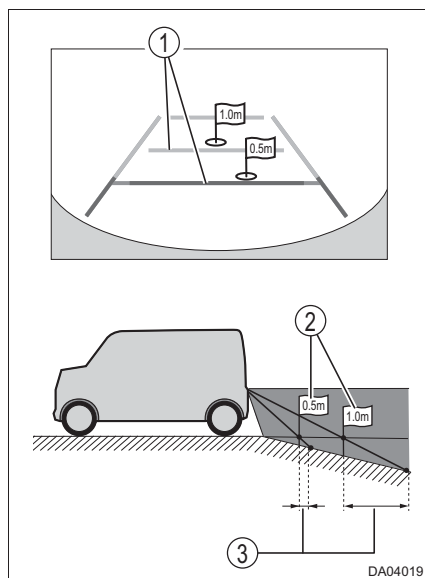
① 距離目安線

② 実際の距離

③ 誤差

●急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離より後ろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



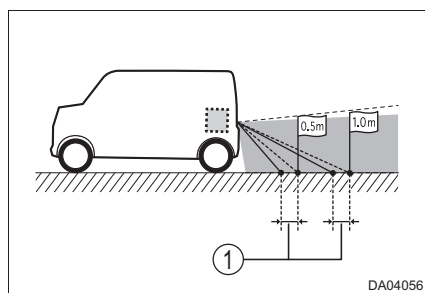
① 距離目安線

② 実際の距離

③ 誤差

●お車が傾いているとき

乗車人数、積載量などによりお車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。



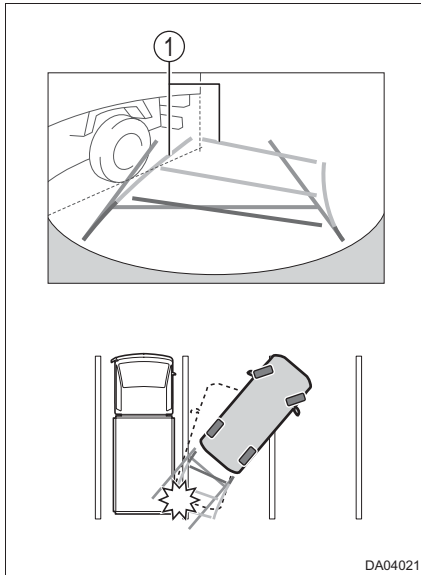
① 誤差

■ 立体物が近くにあるとき

ガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことに注意してください。

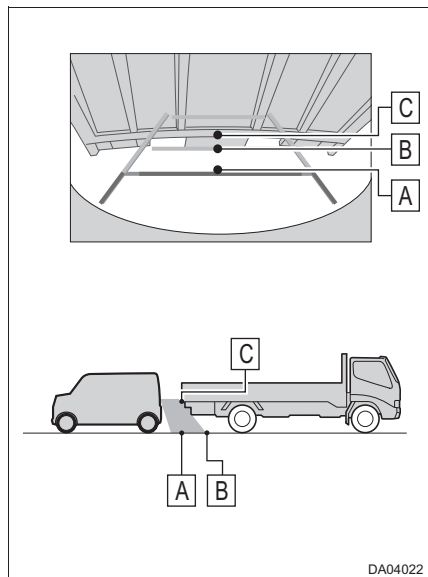
● 予想進路線について

周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。



① 予想進路線

●距離目安線について



後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線より B の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A と C より遠い距離にあります。

カメラの設定

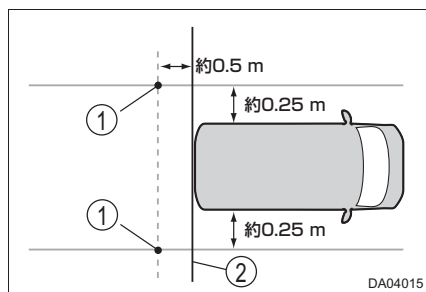
ガイド線表示の ON / OFF を設定する

システム設定画面 (→ P. 23) → [カメラ設定]

- ▶ ハンドル操作と連動しないガイド線表示
[バックガイドライン] ON / OFF
- ▶ ハンドル操作と連動するガイド線表示
[予測線] ON / OFF

ハンドル操作と連動しないガイド線を調整する

1 車両に対して図の位置に目印を付ける

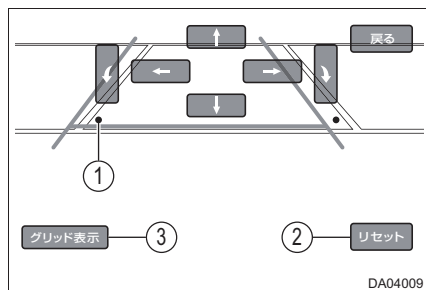


- ① 目印
- ② 車両後端

4

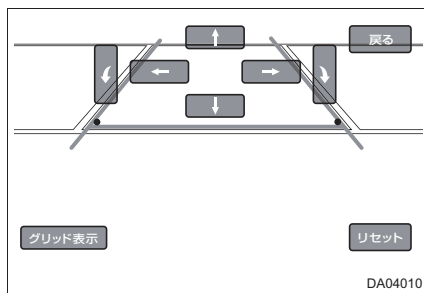
2 システム設定画面 (→ P. 23) → [カメラ設定] → [バックガイドライン] ON → [調整]

3 矢印を選択し、位置を調整する



- ① 目印
- ② 調整した位置を初期化
- ③ 調整の目安となるグリッドを表示

- 4 ガイド線と目印がそろったら、調整を終える



知識

- ガイド線の調整は、通常必要ありません。
- ガイド線の調整は、車両を安全な場所に停止した状態で行ってください。
- 車両から降りて目印を付ける際には、必ず車両のエンジンを停止してください。

コーナーセンサー表示の ON / OFF を設定する (対応システム接続時のみ)

システム設定画面 (→ P. 23) → [カメラ設定] → [コーナーセンサー]
ON / OFF

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

次のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、再度確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

考えられる原因	処置
画面が見にくい	
● 夜間など暗いところで使用するとき ● レンズ付近の温度が高い、または低いとき ● 外気温が低いとき ● カメラに水滴が付いたとき ● 雨天時など湿度が高いとき ● カメラ付近に異物（泥など）が付いたとき ● カメラにすり傷が付いたとき ● 白壁や明るいものが画面に映り込んだとき ● 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき ● 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯などの照明下で使用したとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。 （カメラおよびその周囲環境が改善されてから、バックカメラを使用してください）
画面が不鮮明	
カメラのレンズに水滴・雪・泥など異物や汚れが付着しているとき	水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でふき取ってください
画面がずれている	
カメラ部に強い衝撃が加わったとき	トヨタ販売店で点検を受けてください
ガイド線が大きくずれる	
カメラの位置がずれているとき	トヨタ販売店で点検を受けてください
● お車が傾いているとき（重い荷物の積載やバンクしてタイヤの空気圧が低いときなど） ● 傾斜地で使用するとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください

考えられる原因	処置
ハンドルが直進状態であるにもかかわらず予想進路線がまがっている (車幅延長線と予想進路線がずれる)	
ステアリングセンサーの信号に異常が発生した	トヨタ販売店で点検を受けてください
“信号が検出できません”とメッセージが表示された	
カメラの接続不良	トヨタ販売店で点検を受けてください

パノラミックビューモニター★

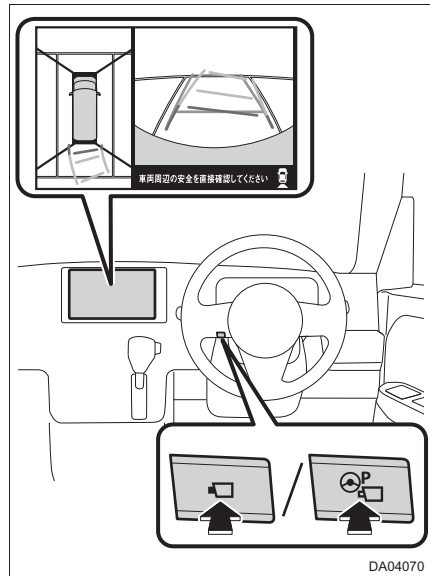
パノラミックビューモニターは、車両に取り付けたフロント、サイド、バックカメラの映像を合成して画面上に表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。

お使いになる際は、車両本体の取扱書もお読みください。

カメラ／パーキングアシストスイッチについて

- スイッチを押すと、パノラミックビューモニターの表示が切り替わります。(→ P. 70)
- スイッチを長押しすると、ガイド線表示を ON / OFF できます。(→ P. 81)

スイッチの意匠および位置は、お車によって異なります。詳しくは、車両本体の取扱書をご覧ください。



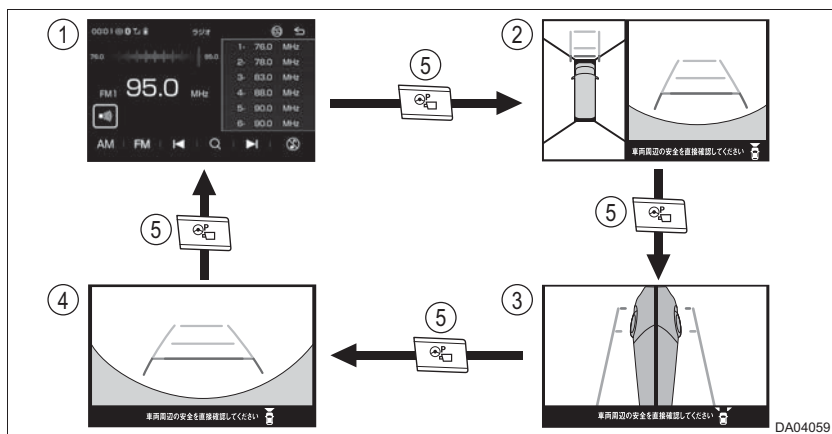
DA04070

パノラミックビューモニター画面表示条件について

エンジンスイッチが“ON”の状態、シフトポジション位置に応じたパノラミックビューモニター画面が表示されます。

また、カメラ／パーキングアシストスイッチを押してパノラミックビューモニター画面を表示することもできます。(以下は一例です)

▶シフトポジションが R 以外のとき



① オーディオ画面（初期画面）

④ フロントワイドビュー

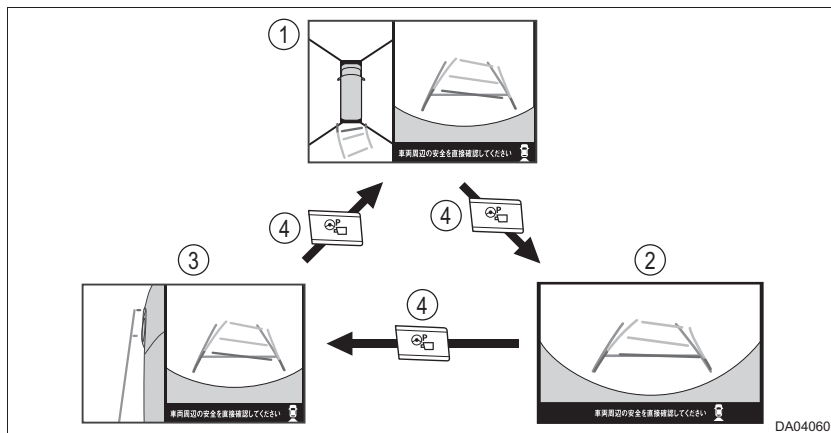
② トップビュー & フロントビュー

⑤ カメラ／パーキングアシストスイッチを押す

③ サイドビュー

DA04059

▶ シフトポジションが R のとき



① トップビュー＆リヤビュー
(初期画面)

② リヤワイドビュー

③ 左サイドビュー＆リヤビュー

④ カメラ／パーキングアシストスイッチを押す

■ オーディオ画面の自動表示について

シフトポジションが R 以外でパノラミックビューモニター画面表示中に次の操作をした場合、自動でオーディオ画面が表示されます。

- 約3分間カメラ／パーキングアシストスイッチの操作がなかった
- 車速が約 10km/h を超えた

■ 前方を確認したいとき

→ P. 72

■ 側方を確認したいとき

→ P. 73

■ 後方を確認したいとき

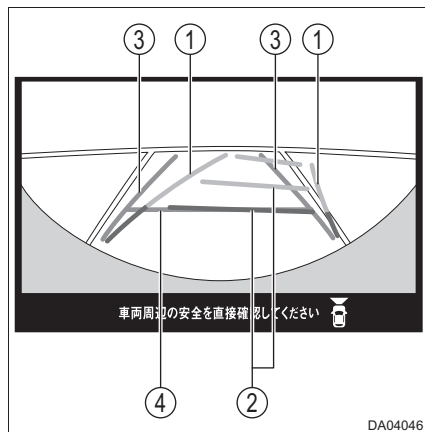
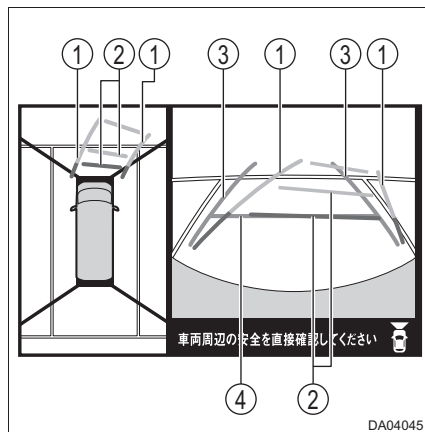
→ P. 74

画面の見方について

■ トップビュー & フロントビュー、フロントワイドビュー

シフトポジションが R 以外のときに表示します。

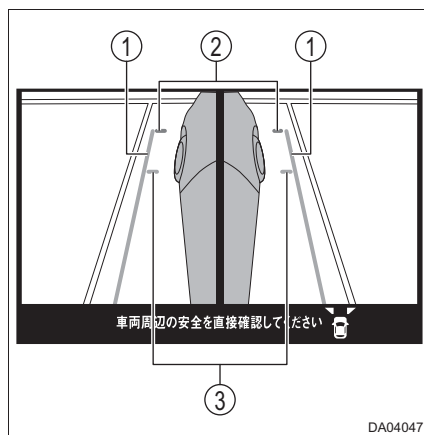
▶ トップビュー & フロントビュー ▶ フロントワイドビュー



- ① 前方予想進路線
ハンドルと連動して、進路の目安（黄色）を示す
- ② 前方距離目安線（ハンドル連動）
お車の前方の距離を示す
 - ・ 予想進路と連動する
 - ・ バンパー前端の中心位置から約0.5m先(赤色)・約1m先(黄色)を示す
- ③ 前方車幅延長線
お車をまっすぐ前進させたときの進路の目安（緑色）を示す
 - ・ 実際の車幅より広く表示
 - ・ 直進状態になっているときは、予想進路と重なる
- ④ 前方距離目安線
お車の前方の距離を示す
 - ・ バンパー前端から約 0.5m 先（緑色）を示す

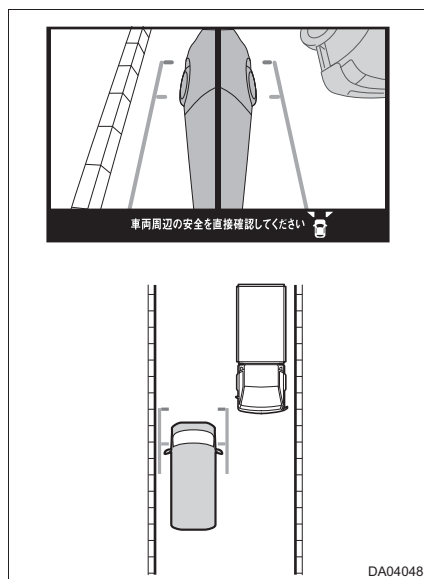
■ サイドビュー

シフトポジションが R 以外のときに表示します。

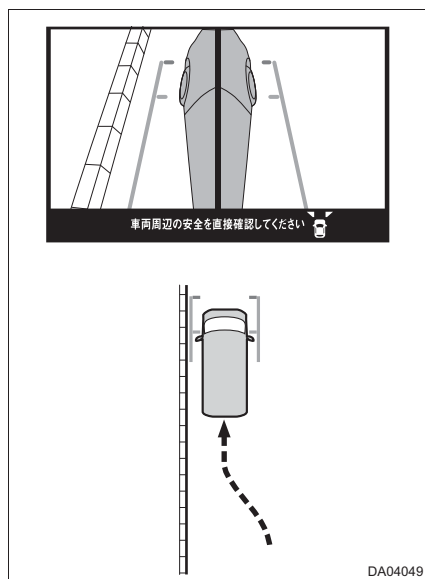


- ① 車幅平行線
ドアミラー分を含んだ車幅の目安（緑色）を示す
- ② 前方距離目安線
車両前端から約 0.3m 先（赤色）を示す
- ③ 前輪接地線
前タイヤの位置（緑色）を示す

● 車幅平行線の使い方



- ・ 車幅平行線と障害物との位置関係を見ます。
- ・ 車幅平行線が実際の障害物などに重ならないようにハンドルを操作して前進します。



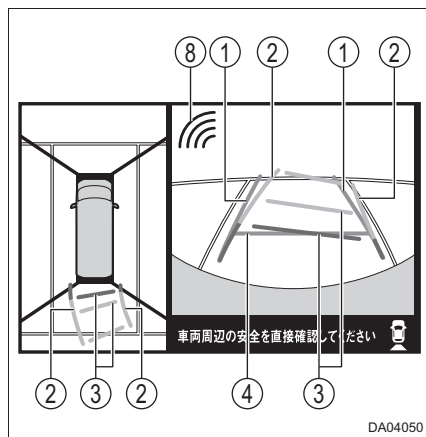
- ・ 車幅平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を見ます。
- ・ 上記のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- ・ 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車することができます。

■ トップビュー & リヤビュー、リヤワイドビュー、 左サイドビュー & リヤビュー

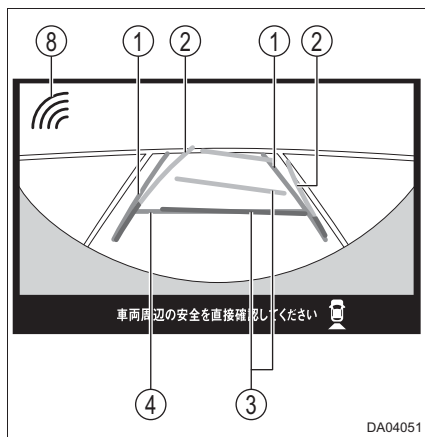
シフトポジションが R のときに表示されます。

予想進路線表示モードで駐車する。(→ P. 59)

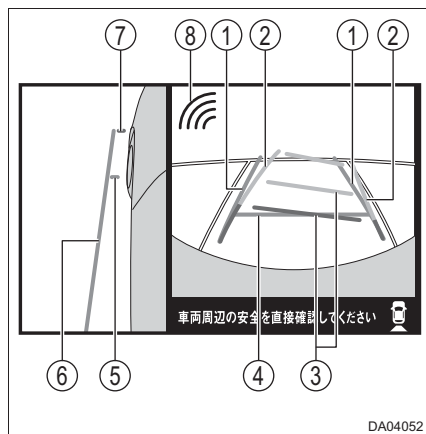
▶ トップビュー & リヤビュー



▶ リヤワイドビュー



▶ 左サイドビュー & リヤビュー



- ① 後方車幅延長線
お車をまっすぐ後退させたときの進路の目安（緑色）を示す
 - ・ 実際の車幅より広く表示
 - ・ 直進状態になっているときは、予想進路と重なる
- ② 後方予想進路線
ハンドルと連動して、進路の目安（黄色）を示す
- ③ 後方距離目安線（ハンドル連動）
お車の後方の距離を示す
 - ・ 予想進路と連動する
 - ・ バンパー後端の中心位置から約0.5m先（赤色）・約1m先（黄色）を示す
- ④ 後方距離目安線
お車の後方の距離を示す
 - ・ バンパー後端から約 0.5m 先（緑色）を示す
- ⑤ 前輪接地線
前タイヤの位置（緑色）を示す
- ⑥ 車幅平行線
ドアミラー分を含んだ車幅の目安（緑色）を示す
- ⑦ 前方距離目安線
車両前端から約 0.3m 先（赤色）を示す
- ⑧ コーナーセンサー作動表示（対応システム接続時のみ）
コーナーセンサーがONのとき、コーナーセンサーが障害物を検知すると、インジケーターが表示されブザーが鳴る

インジケーター表示	障害物との距離
緑色	約 60 ～ 45cm
黄色	約 45 ～ 30cm
赤色	約 30cm 以内

- ・ 詳しくは、車両本体の取扱書をご覧ください
- ・ コーナーセンサー表示の ON / OFF 設定（→ P. 66）

●車幅平行線の使い方



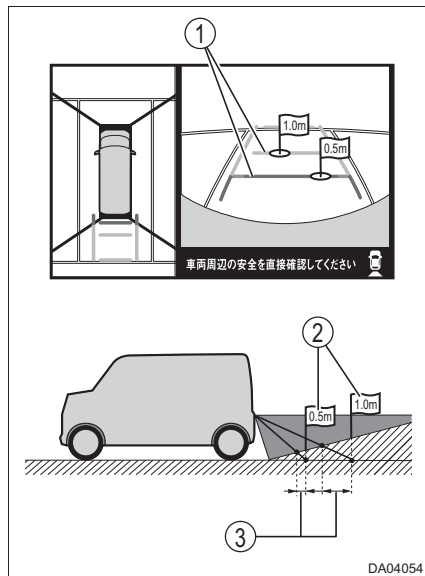
- 車幅平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を見ます。
- 上記のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車することができます。

■ 画面と実際の路面との誤差について（リヤビュー、リヤワイドビュー）

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

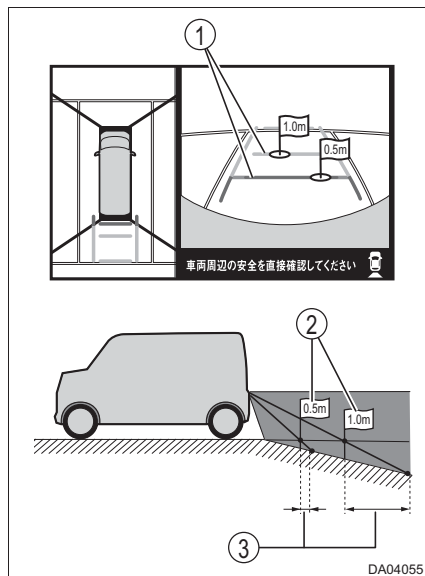
● 急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



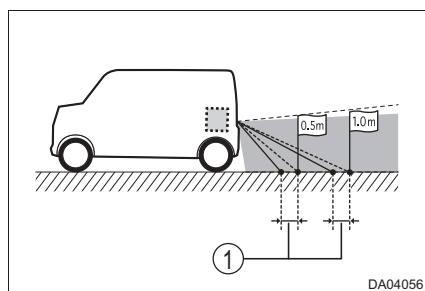
●急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離より後ろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



●お車が傾いているとき

乗車人数、積載量などによりお車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。



■ 立体物が近くにあるとき（フロントビュー、フロントワイドビュー、リヤビュー、リヤワイドビュー）

ガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことに注意してください。

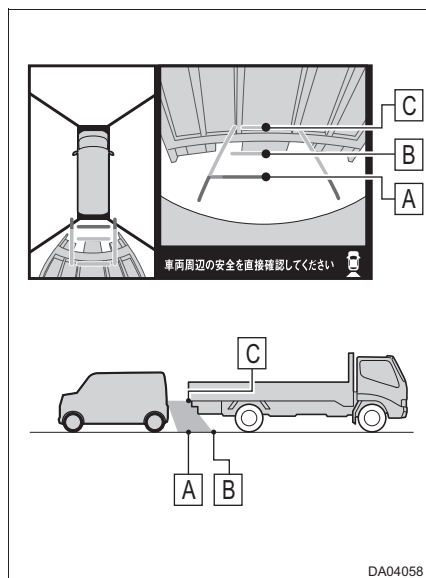
● 予想進路線について

周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。



① 予想進路線

●距離目安線について



周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線より B の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで前進、または後退すると、ぶつかります。画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A と C より遠い距離にあります。

カメラの設定

ガイド線表示の ON / OFF を設定する

■ カメラ／パーキングアシストスイッチを操作する

- 1 シフトポジションを P にし、パーキングブレーキをかける
- 2 トップビュー & フロントビューを表示する (→ P. 70)
- 3 カメラ／パーキングアシストスイッチを長押しするごとに、各ガイド線表示を ON / OFF する

■ システム設定画面から操作する

→ P. 65

ハンドル操作と連動しないガイド線を調整する

→ P. 65

コーナーセンサー表示の ON / OFF を設定する (対応システム接続時のみ)

→ P. 66

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

次のような症状になったときは、考えられる原因と処置を参考に、再度確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

考えられる原因	考えられる原因処置
画面が見にくい	
●夜間など暗いところで使用するとき ●レンズ付近の温度が高い、または低いとき ●外気温が低いとき ●カメラに水滴が付いたとき ●雨天時など湿度が高いとき ●カメラ付近に異物（泥など）が付いたとき ●カメラにすり傷が付いたとき ●白壁や明るいものが画面に映り込んだとき ●太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき ●蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯などの照明下で使用したとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。 （カメラおよびその周囲環境が改善されてから、パノラミックビューモニターを使用してください）
画面が不鮮明	
カメラのレンズに水滴・雪・泥など異物や汚れが付着しているとき	水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でふき取ってください。
画面がずれている	
カメラ部に強い衝撃が加わったとき	トヨタ販売店で点検を受けてください
ガイド線が大きくずれる	
カメラの位置がずれているとき	トヨタ販売店で点検を受けてください
●お車が傾いているとき（重い荷物の積載やバンクしてタイヤの空気圧が低いときなど） ●傾斜地で使用するとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。

考えられる原因	考えられる原因処置
ハンドルが直進状態であるにもかかわらず予想進路線がまがっている (車幅延長線と予想進路線がずれる)、または表示されない	
ステアリングセンサーの信号に異常が発生した	トヨタ販売店で点検を受けてください
“信号が検出できません”とメッセージが表示された	
カメラの接続不良	トヨタ販売店で点検を受けてください

スマートフォン連携

5

5-1. SmartDeviceLink™

SmartDeviceLink™に ついて	86
SmartDeviceLink™ Apps の操作	87
SmartDeviceLink™の 設定	89
知っておいて いただきたいこと	90

5-2. Apple CarPlay

Apple CarPlay について	91
Apple CarPlay の操作	92
モバイル音声認識の操作	94

SmartDeviceLink™について

SmartDeviceLink™は、スマートフォンにインストールされている SmartDeviceLink™対応アプリを、本機の画面上で操作できます。本機能を利用するには、専用アプリがインストールされたスマートフォンが必要です。

⚠ 警告

- SmartDeviceLink™および SmartDeviceLink™対応アプリについて、トヨタは以下を含む一切の責任を負いません。
 - ・ アプリの提供事業者から、SmartDeviceLink™対応アプリが提供されない場合があること
 - ・ 提供された SmartDeviceLink™対応アプリが、本機で問題なく、お客様が満足できる品質で動作しない場合があること
 - ・ 提供された SmartDeviceLink™対応アプリが、お客様の特定の目的に合致しない場合があること
- SmartDeviceLink™および SmartDeviceLink™対応アプリを利用したこと、または利用できなかったことにより、お客様または第三者に以下を含むいかなる損害が生じた場合であっても、トヨタは一切の責任を負いません。
 - ・ 死亡または傷害
 - ・ 本機を搭載したお車の故障・破損を含む物的な損害
 - ・ データの破損・消失
 - ・ 逸失利益
- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。お車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

スマートフォンの接続について

SmartDeviceLink™対応アプリを利用するには、スマートフォンの Bluetooth 設定が「電話」と「オーディオ」の両方設定されている必要があります。(→ P. 21)

アプリを利用する場合は、USB 接続 (→ P. 18) が必要な場合があります。

SmartDeviceLink™ Apps の操作

SmartDeviceLink™対応アプリを操作するには、スマートフォン連携の設定を ON およびスマートフォン優先設定を「SDL」にしておく必要があります。(→ P. 89)

① スマートフォンを接続 (→ P. 21)

一度、接続したスマートフォンの場合は、自動で接続します。

② ホーム画面 (→ P. 10) →アプリを選択

- 前回接続したSmartDeviceLink™対応アプリが自動で起動します。
- 画面外の☆ボタンを押しても、ナビアプリが起動します。(事前に“☆”ボタンの割り当て (→ P. 89) で、ナビアプリを選択します。)



知識

- スマートフォンにより、SmartDeviceLink™対応アプリのアイコンが表示されるまでに時間がかかることがあります。

SmartDeviceLink™の更新について

SmartDeviceLink™の更新が必要になると、メッセージが表示されます。

1 [ダウンロード] を選択

- 更新データをダウンロードします。
他の画面に切り替えるなどダウンロードが取り消されたときは、再度、本機の電源をONおよびSmartDeviceLink™を接続すると更新のメッセージが表示されます。
- ダウンロード中に本機の電源をOFFにしないでください。
誤って電源・接続がOFFされた場合、ダウンロードができないことがあります。このようなときには、スマートフォンを再起動して操作をやり直してください。



2 [インストール] を選択

更新データをインストールします。

インストール中に他の画面に切り替えてもインストールは続きます。

3 [確認] を選択

⚠ 注意

- 安定したスマートフォンの通信環境で更新してください。
- 更新中はエンジンスイッチを“OFF”にしないでください。
- 更新中はスマートフォンの電源をOFFにしたり、Bluetoothの設定をOFFにしないでください。

SmartDeviceLink™の設定

“☆” ボタン割り当てを設定する

スマートフォンにナビアプリがインストールされている場合は、画面外の☆ボタンで起動するナビアプリを設定することができます。

- ① システム設定画面 (→ P. 23) → [“☆” ボタン割り当て]
- ② ナビアプリを選択

スマートフォン連携の ON / OFF を設定する

SmartDeviceLink™や Apple CarPlay が利用できるように設定します。
通信設定画面 (→ P. 27) で、[スマートフォン連携] を選択すると、ON / OFF が切り替わります。

スマートフォン連携優先設定を変更する

スマートフォンを接続したときに利用できるスマートフォン連携機能 (SmartDeviceLink™、または Apple CarPlay) を設定できます。

- ① 通信設定画面 (→ P. 27) → [スマートフォン連携優先設定]
- ② [SDL]、または [Apple CarPlay] を選択

知識

- 本機に接続するスマートフォンが対応していなければならない仕様については、「Bluetooth について」 (→ P. 107) をご覧ください。
- 本機は、すべての Bluetooth 端末において動作を保証しているわけではありません。
- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- 音楽アプリなどの音量は、本機の音量設定とスマートフォンの音量設定で調整してください。
- ナビアプリの案内音量は、スマートフォンの音量設定および本機の設定画面で調整することができます。(→ P. 26)

警告

- 安全のため、運転中にスマートフォンの操作をしないでください。

注意

- スマートフォンは車室内に放置しないでください。(炎天下など、車室内が高温となる場合があります)
- スマートフォンを本機に近付けて使用しないでください。近付け過ぎると、接続状態が悪化することがあります。

知っておいていただきたいこと

◆ こんな症状になったときは

症状	原因	処置
SmartDeviceLink™ が表示できない	スマートフォンが接続されていない。	スマートフォンを接続してください。(→ P. 21)
	スマートフォン連携の設定が OFF になっている。	スマートフォン連携の設定を ON にしてください。(→ P. 89)
	スマートフォン連携優先設定が「Apple CarPlay」になっている。	スマートフォン連携優先設定を「SDL」にしてください。(→ P. 89)
	対応しているアプリがスマートフォンにインストールされていない。	対応しているアプリをスマートフォンにインストールしてください。
SmartDeviceLink™ 対応ナビアプリが表示できない	“☆” ボタンの割り当てが設定されていない。	ホーム画面から選択するか、“☆” ボタンの割り当てで、ナビアプリを選択してください。(→ P. 89)
	USB ケーブルが通信用 USB 差込口に接続されていない。	USB ケーブルを通信用 USB 差込口に接続してください。(→ P. 18)
	USB を認識していない。	USB ケーブルを接続しているにもかかわらずナビアプリが起動しない場合は、再度 USB ケーブルを接続し直してください。

Apple CarPlay について

Apple CarPlay に対応した iPhone を USB 接続（→ P. 18）すると、本機の画面上で iPhone の電話、ミュージック、マップ、メッセージなどの機能が操作できます。

警告

- Apple CarPlay および Apple CarPlay 対応アプリについて、トヨタは以下を含む一切の責任を負いません。
 - ・ アプリの提供事業者から、Apple CarPlay 対応アプリが提供されない場合があること
 - ・ 提供された Apple CarPlay 対応アプリが、本機で問題なく、お客様が満足できる品質で動作しない場合があること
 - ・ 提供された Apple CarPlay 対応アプリが、お客様の特定の目的に合致しない場合があること
- Apple CarPlay および Apple CarPlay 対応アプリを利用したこと、または利用できなかったことにより、お客様または第三者に以下を含むいかなる損害が生じた場合であっても、トヨタは一切の責任を負いません。
 - ・ 死亡または傷害
 - ・ 本機を搭載したお車の故障・破損を含む物的な損害
 - ・ データの破損・消失
 - ・ 逸失利益
- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。お車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

対応機器について

Apple CarPlay をサポートする Apple iPhone (iOS Ver. 12.0 以降)。
Apple CarPlay をサポートする機種については、
<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/> でご確認ください。※

※ 本機での動作を保証しているわけではありません。

Apple CarPlay の操作

◆ スマートフォン連携を設定する

→ P. 89

◆ スマートフォン連携優先設定を変更する

→ P. 89

① iPhone を USB 接続 (→ P. 18)

② ホーム画面 (→ P. 10) → [Apple CarPlay]



① アプリが起動

② Apple CarPlay のホーム画面に切り替え

選択し続けると、モバイル音声認識 (→ P. 94) が起動します。

知識

- Bluetooth 接続中の iPhone で、Apple CarPlay を開始すると、Bluetooth 接続は解除されます。
- お使いの iPhone によって画面に表示されるアプリは異なります。
- ご使用前に iPhone の取扱説明書をよくお読みください。
- iPhone に付属の Lightning-USB ケーブルを使用ください。
- Apple CarPlay は Apple 社によって提供されています。使用するには Apple iOS 利用規約および Apple CarPlay 利用規約に同意していることを条件としています。
- Apple CarPlay 使用中は、場所や速度などの車両データが iPhone に転送されます。詳しくは Apple プライバシーポリシーを参照ください。
- Apple CarPlay ホーム画面に表示されるアイコンやアイコンの表示位置は、接続した iPhone や iOS のバージョンにより異なる場合があります。

⚠ 警告

- 安全のため、運転中に iPhone の操作をしないでください。

⚠ 注意

- iPhone は車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります）

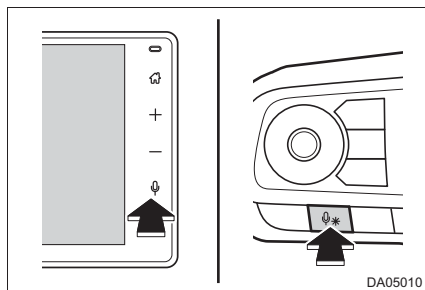
モバイル音声認識の操作

Apple CarPlay (→ P. 91) の音声認識機能を起動させることができます。

モバイル音声認識を操作する

トークボタン／スイッチを押すと、スマートフォンの音声認識が起動する

- ・音が鳴ったあと、モバイル音声認識を利用できます。
- ・ボタン／スイッチの位置は、お車によって異なります。詳しくは、車両本体の取扱書をご覧ください。



●モバイル音声認識の音量調整は、音量調整ボタンで調整可能です。

知識

- モバイル音声認識は次の状況ではコマンドを認識できない可能性があります。
 - ・話すスピードが速過ぎる
 - ・声が小さいまたは大きい
 - ・窓が開いている
 - ・モバイル音声認識使用中に他の人が話している
 - ・エアコンの風量が強めに設定されている
 - ・エアコンの吹き出し口がマイクの方に向いている
- Apple CarPlay ホーム画面に表示されるアイコンやアイコンの表示位置は、接続した iPhone や iOS のバージョンにより異なる場合があります。

ドライブレコーダー

6

6-1. ドライブレコーダー

ドライブレコーダー 96

ドライブレコーダー画面を
操作する 97

ドライブレコーダーの設定 ... 99

ドライブレコーダー★

本機は、販売店装着オプションのドライブレコーダーの接続に対応しており、microSD カードに保存した映像を本機で再生することができます。また、手動で映像を録画することもできます。

本機に接続できるドライブレコーダーについては、トヨタ販売店にお問い合わせください。

お使いになる際は、ドライブレコーダー本体の取扱説明書と併せてお読みください。

録画方法について

ドライブレコーダーは、次の方法で録画します。

●常時録画

ドライブレコーダーの電源が ON されると、自動的に録画を開始し、1 分ごとに録画ファイルを microSD カードに保存します。microSD カードの容量がなくなると、古い録画ファイル順に自動消去され、繰り返し保存し続けます。

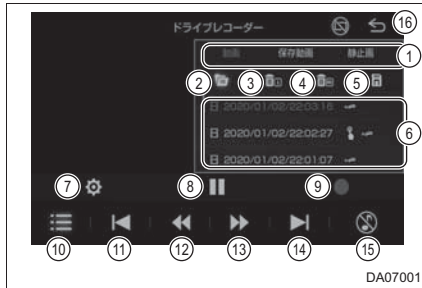
●駐車録画

駐車中（エンジンスイッチ“OFF”中）に車の接触や、いたずらなどで振動を検知すると、自動で録画を開始し、録画ファイルを microSD カードに保存します。

●手動録画（→ P. 98）

ドライブレコーダー画面を操作する

ホーム画面 (→ P. 10) → [ドライブレコーダー]



① ファイルリストの切り替え

リストに表示させるファイルの種類を選択できます。

- [動画]: 動画ファイルのリストを表示します。
- [保存動画]: 保存フォルダに記録した動画ファイルのリストを表示します。
- [静止画]: 静止画ファイルのリストを表示します。

② 動画ファイルリストの切り替え

選択するたびに、手動録画した動画ファイルのリストと全動画ファイルのリストが切り替わります。

③ 選択したファイルを削除

[はい] を選択すると、選択したファイルを削除します。

④ 表示しているリストの全ファイルを削除

[はい] を選択すると、表示している全ファイルを削除します。

⑤ 選択したファイルを保存フォルダに保存

[はい] を選択すると、選択したファイルを保存フォルダに保存します。保存フォルダに保存されたファイルは、自動消去されません。

⑥ ファイル

再生したいファイルを選択すると、再生を開始します。

全画面の映像を表示中に選択すると、操作スイッチが表示されます。

⑦ ドライブレコーダー設定画面を表示 (→ P. 99)

⑧ 再生／一時停止

⑨ 手動で録画／静止画を撮影 (→ P. 98)

⑩ ファイルリストの表示をOFFする

再度選択すると、ファイルリストを表示します。

⑪ 前のファイルを選ぶ

⑫ 映像を早戻し

選択している間、早戻しします。

⑬ 映像を早送り

選択している間、早送りします。

⑭ 次のファイルを選ぶ

⑮ オーディオを OFF

[♪] を選択すると、オーディオを ON します。

⑯ ホーム画面を表示

手動で録画・静止画を撮影する

常時録画中に、録画または静止画を撮影できます。手動で録画・撮影されたファイルは自動消去されません。

▶ ドライブレコーダー画面から録画／撮影

ドライブレコーダー画面 (→ P. 97) → 

▶ ドライブレコーダー設定画面から録画／撮影

ドライブレコーダー設定画面 (→ P. 99) → [カメラモニター設定]



① 録画を開始

[stop] を選択すると、録画を停止します。

手動録画の自動停止 (→ P. 99) で設定した時間 (1分 / 3分) になると、自動で録画を停止します。

② 静止画を撮影

選択した瞬間の静止画が撮影されます。

ドライブレコーダーの設定

ドライブレコーダー画面 (→ P. 97) → 



●音声録音

録画中の音声録音をON/OFFできます。

●急加速・急減速の感知音

急加速／急減速したときのブザー音をON/OFFできます。

●駐車録画

駐車中に、振動を検知したときの自動録画をON/OFFできます。

●駐車録画のお知らせ

エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしたとき、駐車中に録画されたことのメッセージ表示をON/OFFできます。

●起動音

ドライブレコーダーの電源がONされたときのブザー音をON/OFFできます。

●急加速・急減速の感度

急加速・急減速の測定感度を設定できます。

●駐車録画の感度

駐車中に検知する振動の感度を設定できます。

●画質

録画する画質（[高画質] / [標準]）を設定できます。

選択後、[OK] を選択します。

●手動録画の自動停止

手動録画の録画時間（[1分] / [3分] / [自動停止しない]）を設定できます。

選択後、[OK] を選択します。

[自動停止しない] を選択したときは、録画開始から[stop]を選択するまで、録画し続けます。

●駐車録画の時間

駐車録画の録画時間（[10秒] / [30秒] / [1分]）を設定できます。

選択後、[OK] を選択します。

●駐車録画の無効時間

エンジンスイッチを“OFF”にしたあと、駐車録画が可能になるまでの時間（[1分] / [3分] / [5分]）を設定できます。

設定した時間内は、振動を検知しても録画は開始されません。

●カメラモニター設定 (→ P. 98)

●取付調整

急加速／急減速したときのブザーが頻繁に鳴ったり、ブザーが鳴り続ける場合、加速度センサーを最適化します。

[はい] を選択すると、加速度センサーの最適化を開始します。

最適化完了後、[確認] を選択します。

●SDカードの初期化

SDカードを初期化します。

[はい] を選択すると、SDカードの初期化を開始します。

初期化完了後、[確認] を選択します。

●設定初期化

本機の設定を工場出荷状態に戻します。

[はい] を選択すると、設定の初期化を開始します。

初期化完了後、[確認] を選択します。

ご参考

7

7-1. 参考情報

使用できるメディア／	
データについて	102
商標、著作権について	108

使用できるメディア／データについて

USB メモリーについて

■ USB メモリーのフォーマットについて

ファイルシステム	FAT32
最大フォルダ数	最大 500
最大ファイル数	●音楽ファイル：最大 1000 ●動画ファイル：最大 1000 ●静止画ファイル：最大 1000
最大ディレクトリ階層	10 階層

オーディオファイルについて

USB メモリーで可以使用する音楽データの仕様は、次の通りです。

■ MP3

拡張子	.mp3
対応ビットレート (kbps)	上限なし
対応サンプリング周波数 (kHz)	●Mpeg1 Layer1/2/3: 32/44.1/48 ●Mpeg2 Layer1/2/3: 16/22.05/24 ●Mpeg2.5 Layer1/2/3: 8/11.025/12
対応チャンネルモード	ステレオ
ID3 タグ	ID3V1 ID3v2.3

■ WMA

拡張子	.wma
対応ビットレート (kbps)	上限なし
対応サンプリング周波数 (kHz)	8/11.025/16/22.05/44.1/48
対応チャンネルモード	ステレオ

■ AAC

拡張子	.m4a
対応ビットレート (kbps)	上限なし
対応サンプリング周波数 (kHz)	8/11.025/16/22.05/44.1/48
対応チャンネルモード	ステレオ

■ WAV

拡張子	.wav
シグナルフォーマット	リニア PCM (LPCM)
量子化ビット数 (bit)	8/16
対応サンプリング周波数 (kHz)	16/22.05/44.1/48

■ FLAC

拡張子	.flac
量子化ビット数 (bit)	8/16/24
対応サンプリング周波数 (kHz)	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/88.2/96/176.4/192

ビデオファイルについて

USB メモリーで利用できるビデオファイルの仕様は、次の通りです。

■ AVI

拡張子	.avi
ビデオコーデック	●MPEG-4 SP ●MPEG-4 ASP ●H.264 ●WMV 9 ●VC-1
オーディオコーデック	●MP3 ●WMA ●LPCM
最大解像度 (ピクセル)	1920×1080
最大フレームレート (fps)	30
最大ビットレート (Mbps)	20

■ WMV

拡張子	.wmv
ビデオコーデック	●WMV 9 ●VC-1
オーディオコーデック	WMA
最大解像度 (ピクセル)	1920×1080
最大フレームレート (fps)	30
最大ビットレート (Mbps)	20/45

■ MPEG4

拡張子	.mp4
ビデオコーデック	●MPEG-4 SP ●MPEG-4 ASP ●H.264 ●MPEG-2 Video
オーディオコーデック	●MP3 ●LPCM ●AAC-LC
最大解像度（ピクセル）	1920×1080
最大フレームレート（fps）	30
最大ビットレート（Mbps）	60

静止画ファイルについて

USB メモリーで利用できる静止画ファイルの仕様は、次の通りです。

ファイル形式	PNG	JPEG	BMP	GIF
拡張子	.png	.jpg/.jpeg	.bmp	.gif
最大解像度（ピクセル）	上限なし			

iPod について

■ 再生可能な iPod について

本機は次の iPod touch、iPhone を使用することができます。

Made for

- iPhone X
- iPhone 8 Plus
- iPhone 8
- iPhone 7 Plus
- iPhone 7
- iPhone SE
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6s
- iPhone 6 Plus
- iPhone 6
- iPhone 5s
- iPod touch (6th generation)



知識

- 使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機では音声の再生のみに対応しています。

Bluetooth について

使用できる Bluetooth の仕様およびプロファイルは次の通りです。

対応 Bluetooth 仕様	Bluetooth Specification Ver.1.1 以上 Ver.4.1+EDR 以上を推奨
対応プロファイル	HFP (Hands Free Profile) 要求バージョン : Ver. 1.0 以上 (推奨バージョン : Ver. 1.7)
	PBAP (Phone Book Access Profile) 要求バージョン : Ver. 1.0 以上 (推奨バージョン : Ver. 1.2)
	SPP (Serial Port Profile) 要求バージョン : Ver. 1.1 以上 (推奨バージョン : Ver. 1.2)
	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) 要求バージョン : Ver. 1.0 (推奨バージョン : Ver. 1.3)
	AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) 要求バージョン : Ver. 1.0 (推奨バージョン : Ver. 1.6)

■ プロファイルの説明

- HFP (Hands Free Profile) : ハンズフリーを行うためのプロファイル
- PBAP (Phone Book Access Profile) : 電話帳データおよび通話履歴などの同期を行うためのプロファイル
- SPP (Serial Port Profile) : Bluetooth 搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル
- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) : オーディオを転送するためのプロファイル
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) : オーディオをリモートコントロールするためのプロファイル

知識

- 本機は、すべての Bluetooth 端末において動作を保証しているわけではありません。

商標、著作権について

Bluetooth



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

iPod / iPhone



- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Apple CarPlay



- Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this product with iPhone or iPod may affect wireless performance.
- Apple CarPlay is a trademark of Apple Inc.

SmartDeviceLink™



「SmartDeviceLink™」は SmartDeviceLinkConsortium の商標または登録商標です。

Windows Media

This product includes technology owned by Microsoft Corporation and cannot be used or distributed without a license from Microsoft Licensing, Inc.

その他

本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

さくいん

アルファベット順さくいん	112
五十音順さくいん	113

アルファベット順さくいん

AM ラジオ	P. 30
Apple CarPlay	P. 91
Apple CarPlay の操作	P. 92
音声認識の操作	P. 94
ASL	P. 26
Bluetooth オーディオの操作	P. 43
ランダム再生	P. 43
リピート再生	P. 43
Bluetooth 機器を登録／接続する	P. 19
Bluetooth 接続を切断する	P. 19
Bluetooth 対応プロファイル	P. 107
EQ 選択	P. 26
FM ラジオ	P. 30
iPod の操作	P. 41
ランダム再生	P. 41
リピート再生	P. 41
Loudness	P. 26
SmartDeviceLink™	P. 86
SmartDeviceLink™ Apps の操作	P. 87
SmartDeviceLink™ の設定	P. 89
USB ソケット	P. 18
USB メモリーの接続	P. 18
USB メモリーの操作	P. 38
スライドショー	P. 39
ランダム再生	P. 38
リピート再生	P. 38

五十音順さくいん

あ

暗証番号	24
案内音量設定	26

お

音場設定	26
音声認識の操作	94
音量調整ボタン	8
オーディオ & ビジュアル	30
テレビ	32
ラジオ	30
Bluetooth オーディオ	43
iPod	41
オーディオを OFF する	10

か

画面	
明るさを調整する	25
画面の表示設定	25
画面を消す	10
タッチ操作	17
ドラッグ操作	17
フリック操作	17
ホーム画面	10

こ

交通情報	12, 31
------------	--------

し

充電する	18
周辺監視	58
バックカメラ	58
パノラミックビュー	
モニター	69
使用できるメディア／	
データについて	102
オーディオファイル	102
静止画ファイル	105
ビデオファイル	104
Bluetooth	107
iPod	106
USB メモリー	102
初期化	23

す

ステアリングスイッチ	
(オーディオ)	45
音量調整スイッチ	45
ステアリングスイッチ	
(ハンズフリー)	49
音量調整スイッチ	49
ステータスアイコン	13
携帯電話の電池残量表示	15
携帯電話の電波の	
受信レベル表示	15
Bluetooth 機器の	
接続状態表示	14
SmartDeviceLink ™ 表示	13
スマートフォン連携	86
Apple CarPlay	91
SmartDeviceLink ™	86

せ

セキュリティ設定	24
暗証番号	24
接続する	
ケーブルを使って接続する	18
Bluetooth 機器を接続する	21
iPod を接続する	18
USB 機器を接続する	18
設定	
案内音量設定	26
音場設定	26
オーディオの設定	26
画面の表示設定	25
システム設定	23
初期化	23
セキュリティ設定	24
操作音設定	23
通信設定	27
時計設定	23
ドライブレコーダーの設定	99
バックカメラの設定	65
パノラミックビューモニター の設定	81
SmartDeviceLink ™の設定	89

そ

操作音設定	23
操作ボタン	8

ち

着信を拒否する	53
---------------	----

て

デジタルテレビ	32
テレビ	32
緊急警報放送 (EWS)	37
チャンネルの切り替え	32
テレビの機能を設定する	36
データ放送を操作する	35
番組表	33
ワンセグの切り替え	36
電話帳から発信する	51
電話帳を転送する	52
電話を受ける	53
着信を拒否する	53
電話をかける	50
ダイヤル発信する	52
電話帳から発信する	51
履歴から発信する	51
電話を切る	52

と

登録する	
Bluetooth 機器を登録する	20
時計設定	23
ドライブレコーダー	96

は

バックカメラ	58
パノラミックビューモニター	69
カメラ／パーキングアシスト	
スイッチ	69
サイドビュー	73
トップビュー & リヤビュー ...	74
トップビュー &	
フロントビュー	72
左サイドビュー &	
リヤビュー	74
フロントワイドビュー	72
リヤワイドビュー	74
番組表	33
ハンズフリー	48

ほ

ホーム画面	10
-------------	----

ら

ラジオ	30
周波数の切り替え	30
プリセットスイッチ	30

ろ

録画する	
(ドライブレコーダー)	96





お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00～18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
https://toyota.jp/privacy_statement/ にて
掲載しております。

「リコール等情報」については、
<https://toyota.jp/recall/index.html> にて
掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<https://toyota.jp>

R4



M B1202
01999-B1202

KBC-2020年 2月28日

2019年11月 5日 初版

2020年 3月 6日 3版

ライズ

9インチディスプレイオーディオ